

Personnel Management

人材マネジメント

人事制度

MIRARTHホールディングスグループは、従業員一人ひとりが未来に向けた永続的な成長を共に創造する存在であるという考えのもと、タカラレーベンでは経営計画達成に必要な人材を安定的に生み出す新人事制度を推進しています。

新制度では、従業員がとるべき具体的な日々の行動「プロミス」に基づいて、等級・職種別に評価項目を設定したほか、適正かつ公平性・透明性の高い評価・処遇の実現に向けて、行動評価については評価会議によって評価基準の目線合わせなどの改定を実施しました。これらの取り組みにより、従業員へのより納得性の高いフィードバック、管理職における評価制度の意義や評価基準の理解促進による評価能力の向上を目指しています。

人事制度基本方針

経営計画達成に必要な人材を安定的に生み出す人事制度

- 会社が求める人材像を明確に打ち出し、従業員がキャリアビジョンを描ける仕組みの構築
- 人件費配分を見直し、優秀な人材の獲得・定着とモチベーション向上
- 優秀な管理職人材を生み出すための教育と選抜の実施
- 公平性・透明性の高い評価・処遇を行い、従業員の納得感を醸成し成長意欲を向上

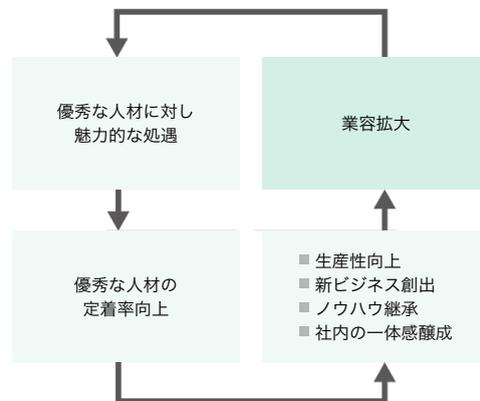
「プロミス」12の行動

1. 本気で仕事に取り組もう
2. 心から仕事を楽しもう
3. 本音で語り合おう
4. 一つひとつの仕事に真摯でいよう
5. 互いを尊重しよう
6. 正しいことを追求しよう
7. 気持ちに耳を傾けよう
8. すぐ行動しよう
9. 自ら提案、行動し続けよう
10. チームワークを大切にしよう
11. 既存の壁を取り払って行動しよう
12. 最後まで諦めずに取り組もう

人事制度改定の効果

タカラレーベンは、新人事制度の狙いである、適正かつ公平性・透明性の高い評価・処遇、評価基準の目線合わせなどの進捗状況をきめ細かく分析し、継続的な改善に取り組んでいます。

評価の上振れ傾向、評価基準のばらつき、資格取得の停滞などが問題点として取り上げられ、その解決に向けて評価方法や昇格要件などの変更を検討、実施しました。



360度評価

管理職層以上の育成および組織の改善を目的として、360度診断を実施しています。

360度診断は、自身の日常行動が周囲にどのように受け止められているかを知ること、自他認識の一致・ギャップを知り、自分を客観視する有効な機会となります。また周囲から多面的にフィードバックを受けることで、自身が認識していない強みや弱みを把握し、自身の行動傾向を知って行動発揮度能力の向上につなげることを目的としています。

2022年度は次長以上85名を対象に、本人、上司、同僚、部下にアンケートを実施。その回答結果を基に本人にフィードバックを行いました。

タレントマネジメントシステムの導入

タカラレーベンは、グループ規模の拡大に伴って従業員の把握が難しくなっていることや、人事情報・データがグループ会社毎に管理され散在していることなどから、これらの課題を解決し、人事情報を効果的・多角的に管理して人材を最大限活用するため、タレントマネジメントシステムを導入しました。

タレントマネジメントシステムは、従業員一人ひとりのスキルや能力、異動、評価などのさまざまな情報をデータ化し、一元管理するツールです。バラバラだった情報を一元管理することにより、人材情報の多角的な分析や可視化が可能になり、戦略的な人事情報の活用につなげています。今後、タカラレーベンを皮切りにグループ会社に順次展開していく予定です。

各種研修制度

従業員一人ひとりの成長と組織としての総合力の向上を目指し、さまざまな研修を実施しています。

教育研修基本方針

- ビジョンに基づく育成だけでなく、一社会人としてステークホルダーに対し誇れる人材の育成
- 各従業員が、自己成長感を覚え、キャリアデザインを構築できるプログラムの実施
- 人事評価制度と連動した、階層ごとに必要となる指導育成力、組織管理能力等、組織や仕事のマネジメント能力の向上
- 各業務の遂行に必要な専門知識、技術等、業務処理能力の習得

新入社員研修

社会人・組織人・仕事人としての意識や、社内における自らの任務の自覚と責任意識を高め、プロとして成果を上げる能力を身に付けることなどを目的に、新入社員に対して入社後の3年間、定期的に研修を実施しています。「新入社員3カ年育成プログラム」に沿って、入社1年目、2年目、3年目ごとに求められる役割、目標、目的意識などを明確にし、自主性をもった従業員の育成に努めています。

宅建取得支援

タカラレーベンは従業員に向けて宅地建物取引士資格（以下「宅建」）の取得を促進する取り組みを進め、学習計画書提出の義務化や、教材の案内、模擬テストなどを実施しています。

また、タカラレーベンリアルネットでも社内でも毎週2回、問題集を活用したテストを実施するなど、宅建取得のためのサポートを行っています。

DXインターンシップ

タカラレーベンは、DXを推進する新卒人材の採用に必要な要件の検証や、当社のデジタル人材に関する取り組みをエンジニアを養成する大学・専門学校など社外へ周知することを目的として、長期インターンシップを実施しました。

2022年度は、エンジニア育成を行う教育機関「バンタンテックフォードアカデミー」から2名の生徒を招き、約4か月に亘り東京本社・グループDX&VX戦略部において、ローコード開発ツールを用いた業務改善やサステナビリティ推進課との協働によるサステナビリティに関する職業体験を実施しました。

教育研修の拡充

タカラレーベンは、従業員一人ひとりの成長と組織としての総合力の向上を目指し、教育研修制度の充実に努めています。2022年度は、新入社員研修をはじめとする階層別研修、選抜された人材を対象とする研修など、個々に求められる知識、スキルを取得するためのプログラムを1年間にわたり計画的に実施しました。

研修体系図

等級	定義	視点	全社教育	階層別	職場	選抜	その他		
役員	<ul style="list-style-type: none"> 経営戦略の策定及び意思決定 会社運営 	会社		<ul style="list-style-type: none"> 経営戦略 会社運営 		評価			
M3	<ul style="list-style-type: none"> 担当組織の戦略推進・管理 統括グループ目標の達成 円滑な組織運営 部長職の育成 	組織		<ul style="list-style-type: none"> 経営戦略 事業組成 	360度評価	組織改善			
M2	<ul style="list-style-type: none"> 担当組織の戦略推進・管理 部目標の達成 円滑な組織運営 課長職の育成 	チーム	<ul style="list-style-type: none"> 組織マネジメント 						
M1	<ul style="list-style-type: none"> 担当組織の戦略推進・管理 課目標の達成 円滑な組織運営 部下育成 	個人	<ul style="list-style-type: none"> マネジメント基礎スキル 						
G3	<ul style="list-style-type: none"> 部下への指示・指導 業務遂行・改善・課題解決の中心的な役割 			<ul style="list-style-type: none"> リーダーシップ 問題解決 	OJT	実務知識研修	業務改善	宅建士資格取得支援制度	eラーニング
G2	<ul style="list-style-type: none"> 上位者の概要指示で担当業務を遂行 業務遂行・改善・課題解決 			<ul style="list-style-type: none"> 論理的思考力 フォローアップ 					
G1	<ul style="list-style-type: none"> 上位者の詳細な指示で担当業務を遂行 業務経験・知識の習得 			<ul style="list-style-type: none"> ビジネススタンス ビジネスマナー 実務基礎スキル 					

ジョブローテーション

定期的に職場の異動や職務の変更を行うジョブローテーションの活性化を進めています。若手層に、本部や部門を越えた異動を経験させることで、会社全体の理解、ポテンシャルの追求、異なる環境への適応力強化を促進します。また、幅広い知識・スキルを持つゼネラリストを育成し、部門間の結びつきを深めることで組織力の強化にもつなげていきます。



Promotion of Well-being Policies

Well-being施策の推進

従業員幸福度調査

「幸せを考える。幸せをつくる。」をビジョンに掲げるタカラレーベンは、企業価値の向上には従業員の幸福度を高めることが重要であると考え、2022年10月、従業員を対象に幸福度調査を実施しました。

Well-being（幸福）は、身体的、精神的、社会的にすべてが満たされた状態を指します。SDGsの目標3でWell-beingの重要性が掲げられているほか、人材確保、経済活力の維持・向上の面からも、Well-beingの重要性が注目されています。

幸福度調査では、現時点での従業員の幸福度を測定・数値化。当社従業員が「どの程度の幸福を感じている状態か」「どの項目が足りているか、または不足しているか」を把握・分析し、今後の施策検討と併せてKPIを設定しました。

今後も継続して幸福度調査を実施し、従業員の幸福度を高めるための戦略人事および人材の最適配置を推進し、ホールディングス化に伴う体制構築を強化していきます。

従業員人事面談

労働環境や職場環境を改善し、従業員が「この会社ですっと働きたい」と思う環境を整えるため、タカラレーベンでは全従業員を対象に人事面談を実施しています。残業時間削減のための情報収集や、従業員のキャリアプランの把握により改善施策を検討するとともに、相談しやすい関係性の構築を目指しています。

また、タカラレーベンリアルネットでも全従業員に対して人事面談を実施し、従業員からの意見や要望をもとに、研修制度の運用を開始するなど、職場環境の改善に取り組んでいます。

従業員への還元

タカラレーベンは、歴史的な物価上昇への対応、および競争力の源泉である多様で優秀な人材の獲得・能力発揮・活躍を図り、生産性向上へとつなげるため、2023年度に平均2.5%の給与のベースアップを実施しました。今後も、従業員が安心して働き、生活できる環境を整備し、従業員のエンゲージメントの向上とタカラレーベンの企業競争力強化を図っていきます。

従業員とのコミュニケーション強化

より良い職場環境の実現を目指し、従業員の声と向き合う取り組みを推進しています。

創業50周年イベント

タカラレーベンは創業記念日である2022年9月21日に、50周年イベント「Takara Leben Group 50th Anniversary Party」を開催しました。「たくさんの感謝とワクワクが詰まった、そして創業から50年間培われてきた一体感をより強固にし、未来へ向けて新たなスタートを切る1日」となることを目指し、さまざまなプログラムを実施。当日はグループ各社従業員と内定者、計1,200名以上が参加し、ホールディングス体制に向けて従業員同士のコミュニケーションを深めました。

また10月には、タカラレーベンの50年の成長を共に歩み、支えてくださったお取引先様約800名をご招待し、「創業50周年記念祝賀会～Takara LebenからMIRARTHホールディングスへ～」を開催。これまでの感謝を伝えるとともに、新体制「MIRARTHホールディングス」を紹介しました。



1 on 1 制度の導入

タカラレーベンは、新中期経営計画7本の柱の1つに「人材育成とやりがいのある職場環境の構築」を掲げています。上司・部下のコミュニケーションを促進することにより、より良い職場環境を構築するため、上司と部下が自由な話題で定期的に面談を行う「1 on 1」を実施しています。隔週で対話の場を設けることで、コミュニケーションのすれ違いを回避し、お互いの理解促進と信頼関係の構築を目指しています。

全社朝礼とアンケート

レーベנקリーンエナジーでは、2022年6月より会社の方向性を共有する目的で、毎月社長による全社朝礼が行われています。その際に出た疑問や不安の把握と改善に役立てるため、全従業員にアンケートを実施し、意見・質問に対して、社長が適宜フィードバックを行っています。

MIRARTH NOTEの拡充

当社グループでは、グループ内WEBサイトMIRARTH NOTE（ミラースノート）を運用し、「グループシナジーの最大化」につながる情報共有、コミュニケーションの活性化を推進しています。MIRARTH NOTEは、グループ会社間で各社の取り組みやリリース情報を共有する機能があり、マニュアルや掲示板など業務効率化に役立つ最新情報を得られるようになっています。

2022年度は50周年プロジェクトの進捗の発信や50周年史の公開を行い、10月1日のホールディングス化に伴って、MIRARTHをイメージした洗練されたデザインへ生まれ変わりました。

また、よりグループ間の連携強化に寄与するWEBサイトを目指して、「Top Voice」として経営陣のインタビューや対談を定期的に動画配信しています。



フットサル「木村和司杯」

レーベントラストは、本社が所在する神奈川県・横浜への地域貢献と企業認知度向上のため、横浜市内にある総合型地域スポーツクラブが開催するフットサル大会「木村和司杯」へスポンサー協力しました。

木村和司杯は、元サッカー日本代表・元横浜Fマリノス監督の木村和司氏が2012年にプロデュースした総合型地域スポーツクラブ「スポーツジャングル10」で行われ、老若男女どなたでも参加いただける大会です。木村和司氏率いるドリームチームとのエキシビジョンマッチには、同社からも役職員チームが参加し、大会を盛り上げました。



親睦野球大会

レーベンホームビルドは、部署を超えた従業員のつながりやコミュニケーションの促進を目的として、営業職と内勤部門合同による野球大会を開催しました。また試合後には参加者全員でBBQを実施。英気を養いつつ、内勤・外勤社員の親睦を深め、組織全体の一体感の醸成を図りました。



サイクリングしまなみ

タカラレーベン西日本（現タカラレーベン）は、地域との関係性強化、エリア支援、社名認知の向上を目的として、「サイクリングしまなみ2022」にシルバーパートナーとして協賛しました。サイクリングしまなみは、2年に1度開催される国際的なサイクリング大会です。島と島をつなぐ個性あふれる橋を含む高速道路の走行がすべてのコースに含まれており、日本で唯一、供用中の高速道路本線を走ることができます。同社からも6名の社員が参加しました。





Diversity

多様な人材の活躍推進

ダイバーシティの推進

女性活躍

MIRARTHホールディングスは、中期経営計画の7本の柱のひとつに「人材育成とやりがいのある職場環境の構築」を掲げています。ライフステージに応じた労働条件を整備し、女性が働きやすく、能力を発揮できる職場環境の整備を進めています。

女性活躍推進プロジェクト

タカラレーベンでは、人材育成とやりがいのある職場環境の構築の一環として、「女性活躍推進プロジェクト」を推進しています。育児を行う従業員が仕事と子育ての両立ができるよう、内閣府が実施するベビーシッター派遣事業の助成を受け、2022年5月に「ベビーシッター利用割引制度」を導入しました。また同年10月には営業職の女性が産休・育休からの復帰後も、安心して仕事と育児を両立しながら活躍できる新しい働き方「ミドル総合職制度」を導入しました。

レーベンクリーンエナジーでも「女性活躍推進プロジェクトチーム」を発足し、女性従業員の生の声をもとにどのように変えていけるかを考え、長く働き続けられる職場環境の整備に取り組んでいます。

地域限定社員制度の導入

少子高齢化による労働人口の減少を背景とする労働力の確保や、事業エリア拡大による地方の人員確保が急務であること、また求職者のニーズの高まりなどから、タカラレーベンは2022年度より「地域限定社員制度」を導入しました。地方採用の円滑化と、働き方の多様化による人材の確保・定着を目指しています。

障がい者雇用

性別、年齢、国籍、障がいの有無などにかかわらず、多様な人材が活躍する企業グループを目指して、ダイバーシティに取り組んでいます。千葉県千葉市の農園「レーベンヴィレッジ」では、障がい者3名、農園管理者1名を雇用し、さまざまな野菜を栽培。長期的に安心して就業できる環境を用意するとともに、農園で育て収穫された野菜は、定期的に社内で希望者に配布されています。



レーベンヴィレッジ野菜直売会

2022年6月、タカラレーベン本社のエントランスにてレーベンヴィレッジ野菜直売会を行いました。千葉県千葉市の農園「レーベンヴィレッジ」の野菜を育てている障がい者のメンバーが本社に来訪し、キュウリ、ズッキーニ、大葉などの夏野菜を販売。生産者メンバーと交流しながら、直接野菜を購入できることで従業員の笑顔も溢れ、直売会には多くの従業員が訪れました。また本社以外の支社・営業所などには、収穫した野菜を郵送しました。なお、野菜の売上はNPO法人のTABLE FOR TWOに寄付しています。



Health Management

従業員の健康管理

働きやすい職場環境づくり

テレワーク制度導入

タカラレーベンでは2019年4月よりテレワークを導入し、従業員の多様な働き方を支援しています。「担当する業務内容」「出産や育児、介護」といった条件を満たす対象者は、情報漏えい対策などを整えた上で、週3回までオフィスに出勤することなく勤務することが可能です。今後も、場所や時間にとらわれない柔軟な働き方ができる魅力ある企業を目指すとともに、BCP（事業継続計画）の観点からもテレワーク制度を推進していく計画です。



「よこはまグッドバランス賞」認定※

レーベンホームビルドは、神奈川県横浜市の認定制度「よこはまグッドバランス賞」として認定されています。この認定制度は、誰もが働きやすい職場環境づくりを積極的に進める横浜市内の中小企業等を応援する認定制度です。

同社は2017年度より継続的に認定を受けており、2021年度には継続的に職場改善に取り組む企業に贈られる「3回継続賞」を授与されています。認定期間は2年で、「多様で柔軟な働き方」や「女性活躍の推進」など6つの項目から審査が行われます。

※ 2023年度から制度が一部改正され「よこはまグッドバランス賞」から「よこはまグッドバランス企業認定」へと変更。



職場環境の整備

タカラレーベンでは、以前よりオフィスの清掃や整理整頓に取り組む「クリーンタイム」（月2回）などを通して、気持ちよく働くことができる環境づくりを進めてきました。

本社では担当者による定期的な社内巡視を行い、会議室をはじめとした共有スペースの清掃を行っています。

また、松山支店では独自の取り組みとして週に4日、執務スペースや会議室の清掃担当を部署ごとに割り振り、従業員全員で清掃を行う時間を設けています。各自整備内容を考えて取り組むなど、日常的に職場環境の衛生を保つよう、社内美化に努めています。

多様な働き方を支える支援

2019年4月から順次施行されている「働き方改革関連法案」を踏まえて、「長時間労働の是正」や「多様で柔軟な働き方の実現」「雇用形態に関わらない公正な待遇の確保」に取り組んでいます。

長時間労働については、「時間外労働 月に原則45時間以内・年6回のみ60時間以内」を徹底するとともに、勤務実態を可視化して人事評価に反映することを検討するなど、長時間労働をしない職場づくりを推進しています。長時間労働をした従業員に対しては、「医師による面接指導」「労働時間の把握」を実施し、衛生委員会や産業医と情報を共有して、健康被害、労働災害の防止を図っています。

従業員一人ひとりに合った柔軟な働き方につながる有給休暇取得については、「年次有給休暇5日取得義務」の遵守を前提に、それぞれに付与された年次有給休暇の取得を強く推奨しています。

また、2020年4月より施行された「同一労働同一賃金」については、すべての従業員にとって働きがいのある職場を目指して、「契約社員の待遇改善」「契約社員の廃止検討」などを行っています。

オフィス改革の推進

レーベンクリーンエナジーは2022年11月、東京・飯田橋に本社を移転しました。新オフィスでは、職場環境・働き方の自律的な最適化を図るワークスタイル戦略「ABW」(Activity Based Working)を取り入れた、フリーアドレスのオフィスレイアウトを導入。部署間の壁やヒエラルキーを超えた従業員同士のコミュニケーションの活性化と生産性・効率性の最大化、およびペーパーレスによる省資源化に取り組んでいます。

またカフェスペースを設置し、くつろぎながらコミュニケーションや仕事ができる空間を創出するとともに、従業員のおすすめ書籍を置くライブラリーを設け、知識やエンターテインメントの共有を促進しています。

さらに有害物質拡散を防止し、衣服や体に付着する「タバコのおい」をカットする分煙型喫煙ブースを設置し、従業員の多様性を受容するとともに、短時間で効率的にリフレッシュできる環境を提供しています。



安全・衛生に関する基本方針

MIRARTHホールディングスグループは、従業員の安全確保と健康維持・増進への支援を積極的に行い、多様な人材が生き生きと働ける職場環境づくりに取り組みます。また、その推進体制として「衛生委員会」を設置し、従業員の安全・衛生管理の徹底を図っております。

衛生委員会

タカラレーベンは、労働安全衛生法第18条で定められた衛生委員会を中心に、すべての従業員が安心して働ける職場環境づくりに取り組んでいます。

同社では定期的に開催される衛生委員会で、「交通事故」「労働災害」「時間外労働」などを、職場において従業員の安全と健康を脅かす重要なリスクと位置づけ、その実態の調査報告や問題解決に向けた議論を行っています。

異なる職場を代表する委員たちからは、時間外労働削減や休暇取得推進を妨げる職場の環境や習慣の具体的な問題点が提起され、その改善に向けた施策が経営陣を交えて検討され、順次実行されています。

定期健康診断

法令に則り定期健康診断の受診を促進するとともに、受診率向上のための取り組みとして、人事部から従業員へ積極的な働き掛けなどを行っています。また、事業所ごとに従業員が受診しやすい環境を整えています。各種疾患の早期発見のため、30歳以上は生活習慣病予防健診、女性は婦人科検診、35歳以上では人間ドックの受診が可能です。

ストレスチェック

従業員のメンタルヘルス不調を未然に防ぐストレス・マネジメントとして、ストレスチェックを実施し、その結果を経営会議で共有しています。また、従業員は会社に知られることなく、独立した第三者機関でいつでも無料でカウンセリングを受けることが可能です。

安全運転講習

タカラレーベンでは、新入社員研修時に安全運転講習を実施しています。事故防止活動に努めるのは企業の社会的責任であり、企業活動の一環でもあることを伝え、これまでの事故の傾向を紹介するとともに、危険予知トレーニングとしてグループワークなどを実施し、事故防止に努めています。

健康経営

労働時間削減の取り組み

タカラレーベンでは、従業員の健康増進を目指して「時間を意識した効率的な働き方」を推進しています。2021年度は、PCの電源オンオフと連動した「PC利用延長申請システム」を導入しました。同システムによって、従業員が管理者にPC利用延長（時間外労働）の申請を行わずにPCを使い続けると警告画面が現れてシャットダウンされるため、残業時間の削減が見込まれます。一方、管理者においても部下の「残業内容が見える化」されることにより、メリハリのある組織運営への意識が高まると期待されます。

また当社グループ各社では、従業員がゆとりをもって健康的に働くことができる職場環境づくりに取り組んでいます。

レーベントラストでは、ワークライフバランスに関する従業員の意識調査をもとに抽出した課題の解決に向けて、「各課での月2回ノー残業デーの実施」「時差出勤や有休取得の奨励」「テレワークの推進」「必要に応じた人員補充」「DX導入推進」などを進めています。

レーベンコミュニティでは2022年10月からは、新しい退勤システムが稼働し、以前より正確な数値が抽出できるようになりました。今後も退勤状況の確認を通じ、従業員の健康管理に取り組んでいきます。

メンタルヘルス

タカラレーベンでは、従業員に自身のストレスへの気づきを促してメンタルヘルス不調の早期発見・早期対応につなげることを目的に、ストレスチェックを実施（年1回）しています。ストレスチェックを受診した従業員には、結果に応じてメンタルヘルスの状況改善やセルフケアに活用できる学習コンテンツの提供を行っています。さらに従業員・従業員の家族を対象に、それぞれの意思に応じてプロフェッショナル（臨床心理士、精神保健福祉士、産業カウンセラー）からのアドバイスが受けられる相談センターを社外に設置し、メンタルヘルスケアをサポートしています。



ADVANTAGE
相談センター

 どんなお悩みも ご自身のことも 周りの方のことも お気軽にご相談ください	 秘密は厳守します 匿名での相談も 可能です。 安心してご相談ください	 自分にあった 相談方法 対面のほか、電話、 WEB面談、メール などでも相談可能です	 医療・公的機関 も紹介可能 提携の医療機関や より適した相談機関 のご紹介も承ります
--	--	---	--

Human Rights

人権の尊重

人権方針

MIRARTHホールディングスグループ人権方針

MIRARTHホールディングスグループ（以下、当社グループ）は、事業活動を通じて社会課題を解決し、ステークホルダーとともに、サステナブルな社会と成長を実現します。この当社グループ人権方針（以下、本方針）は、当社グループが事業活動を行う上での人権に関する考え方を明確にするものであり、当社グループは、社会の一員として、本方針に従い、人権を尊重し、活動します。また、当社グループの事業に関わるすべてのステークホルダーに対し、本方針に沿った人権尊重への理解と実践を期待し、協働して人権の尊重を推進することを目指します。

1. 国際人権基準の尊重

当社グループは、「国際人権章典」（「世界人権宣言」および「国際人権規約」）および「労働における基本的原則及び権利に関するILO宣言」に記された人権を支持・尊重し、「ビジネスと人権に関する指導原則」や「国連グローバル・コンパクトの10原則」等に基づき、責任ある経営を推進していきます。

当社グループは、活動を行う全ての国・地域において、関連する法令を理解し、遵守します。万一、国際的に認められた人権と事業活動を行う国・地域の法令に矛盾がある場合には、国際的な人権の原則を尊重する方法を追求します。

2. 適用範囲

本方針は、当社グループの役員、従業員、派遣社員およびその他業務に従事するすべての者（以下、役職員等）に適用します。当社グループは、社会の一員として、人権尊重の重要性を強く認識し、本方針を事業活動全体に定着させるため、役職員等に対し適切な教育・研修を実施していきます。また、当社グループは、お客さま、お取引先の皆さまに、本方針を支持いただき、当社グループと協働して人権尊重の取り組みを進めていただくことを期待しています。

3. 人権に関する重点課題

社会の動向や事業を取り巻く環境などにより、取り組むべき課題は変化するため、当社グループは、ステークホルダーや社外の専門家との対話や協議などを通じて、人権に関する重点課題について、適宜見直しを図っていきます。

4. 人権デュー・デリジェンスと救済・是正

当社グループは、人権デュー・デリジェンスの仕組みを構築し、事業活動を通じて生じる顕在的または潜在的な人権への負の影響を把握して、未然に防止または軽減していきます。人権への負の影響を引き起こした、または助長した場合は、救済・是正に取り組みます。

5. ステークホルダーとの対話・協議

当社グループは、人権課題の理解や改善、解決のため、従業員や地域社会、お取引先、お客さまなど関連するステークホルダーとの対話と協議に努めます。

6. 情報開示

当社グループは、本方針に基づく人権尊重の取り組みについて、ウェブサイト等で開示していきます。

人権の尊重

MIRARTHホールディングスグループは、従業員をはじめ、すべてのステークホルダーの基本的人権を尊重して行動するとともに、法令や社会的な倫理規範、あるいは「倫理規程」に定めた事項を遵守しています。

Customer Satisfaction

お客さま満足の向上

お客さま満足度向上の取り組み

営業スタッフアンケート

タカラレーベンでは、営業スタッフや会社に対するお客さまのイメージを把握し、お客さまにより満足をしていただくことを目的として、2019年度よりモデルルーム来場者へのアンケート調査を実施しています。調査では、「お客さまのニーズに合ったご提案ができたか」「説明のわかりやすさや時間は適切だったか」「気遣いを持って丁寧に接することができたか」など、営業スタッフの対応について、あらゆる面から評価を頂いています。

2022年度は、ipadやQRコード読み込みによるアンケートの回答方法を取り入れ、7,000件を超えるお客さまの声を頂く事ができました。集計結果は毎月各モデルルームにフィードバックされ、部署内での共有を行うことで、接客サービスや快適な空間づくりに活用されています。「土地の景観や歴史を踏まえたデザインを取り入れてはどうか」というご意見を頂いた際には、速やかに関連部門へ社内連携され、同じエリアでのマンション開発や商品企画に活かされました。



お客さまのご案内を担当した営業担当の対応について	2021年度				
	不満足	やや不満足	どちらともいえない	やや満足	満足
全体のご説明に要した時間や時間配分	1%	3%	9%	25%	62%
お客さまのニーズを汲み取ったご案内やご提案	0%	1%	6%	25%	68%
お客さまの疑問(不安)に対してのご説明・対応の早さ	0%	1%	6%	22%	71%
物件内容や周辺環境についての情報量およびわかりやすさ	0%	1%	6%	26%	67%
資金計画やライフプランについてのご説明	0%	1%	17%	25%	57%
管理やアフターサービスについてのご説明	0%	1%	17%	26%	56%
お客さまへの気遣い・対応の丁寧さ	0%	1%	4%	17%	78%



2022年度				
不満足	やや不満足	どちらともいえない	やや満足	満足
1%	3%	9%	24%	63%
0%	1%	6%	25%	68%
0%	1%	6%	23%	70%
0%	1%	5%	25%	69%
0%	1%	18%	25%	56%
0%	1%	17%	26%	56%
0%	1%	4%	17%	78%

テナントアンケート

タカラレーベン不動産投資法人は、テナントに向けた取り組みとして可能な限り多くのテナントにアンケート調査を実施し、満足度向上施策の検討・実施に努めています。オフィスや商業物件（10物件、127テナント）を対象に、満足度やリニューアル希望箇所、新型コロナウイルス対策についてなど、今後の良好なコミュニケーション維持につながる貴重な意見を頂いています。

2022年度は、川越ウエストビルにおいて複数テナントから寄せられたご意見を基にテナントと対話を行い、エレベーターの待ち時間によるストレスを軽減する施策として、1Fの共用部に「ピタゴラ装置」を設置しました。また、住宅物件におきましても通勤・通学時間や管理状況に対する満足度等の質問に加え、再生可能エネルギーの導入など、今後の物件運営の参考となる貴重なご意見を多数頂戴しております。

今後も定期的にアンケートを実施するとともに、結果をプロパティ・マネジメント会社と共有し、継続して入居者満足度向上に努めてまいります。



管理業務に関するアンケート

不動産の賃貸管理を行うレーベントラストでは、管理業務に対する評価や要望を把握し、より良いサービスの提供につなげることを目的として、管理物件のオーナーさまを対象にアンケート調査を実施しています。調査では、入居者募集や収支報告、建物の維持管理、営業・物件担当者の対応など受託する管理業務全般に関して評価やご意見を頂きました。

今後も、オーナーさまの大切な資産である不動産の価値向上を目指し、寄せられた評価やご意見を基に、より一層きめ細やかなサービスの提供と業務改善に継続的に取り組んでいきます。

タカラレーベンオーナーズクラブ「DLPS」創設

タカラレーベンでは、快適なライフスタイルの実現をサポートするため、オリジナルマンションブランド「LEBEN」「THE LEBEN」「NEBEL」シリーズのご契約者さまを対象に、住まいと暮らしに関するサービスを提供するタカラレーベンオーナーズクラブ「DLPS」（ドロップス）を創設するとともに、契約者さま専用アプリを提供しています。

「DLPS」は、住まいと暮らしに関するさまざまなサービスを提供する会員組織で、上級クレジットカード会員さま向けサービスと提携し、プレミアム感を味わえる「オーナーズエリート」をはじめ、同社が運営するホテル施設のほか、住まい・暮らしにまつわる提携先サービス各種を優待利用いただけます。また、アプリを通じて、安心保障サービス「10 for all」における専有部の修理依頼サービスや、電子マネーによる専有部修繕積立システムなどを提供し、「タカラレーベン」ブランドに対する顧客ロイヤルティの向上に努めています。



レーベンコミュニティのコミュニティ活動

2011年の東日本大震災をきっかけに、マンションでのコミュニティ形成の重要性が見直されています。マンション管理サービスを提供するレーベンコミュニティは、普段から顔の見える関係性を築くことが、暮らしやすさだけでなく、日々の防犯対策、またいざという時の助けや心強さにつながると考えて、マンション居住者同士のコミュニティ形成を支援しています。



住民懇親会

レーベンコミュニティでは、コミュニティづくりのサポートの一環として、新築マンションで居住者同士の初顔合わせをサポートする「住民懇親会」など、お菓子やゲームを楽しみながら、大人も子どもたちも家族ぐるみでつながりをつくっていただけるイベントをさまざまな形で実施しています。また、複数の棟が集まるマンションでは、ゲームや屋台のほか、ワークショップなどで子どもたちに夏休みの思い出を提供する合同の夏祭りイベントもサポートしています。なお、2022年度も前年と同様、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、住民懇親会の開催は見送っています。



コミュニティイベントにおけるコロナ対応

レーベンコミュニティでは、マンションの居住者が普段から顔の見える関係性を築くことが、暮らしやすさだけでなく、日々の防犯やいざという時の助け合いにつながると考えており、さまざまなイベントを通して居住者同士のコミュニティ形成を支援しています。2022年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、多くの居住者が集まるイベントの開催は見送られましたが、七夕やクリスマスの飾り付けの設置など、3密とならないような季節ごとに楽しめるイベントを開催しました。



テナントの健康と快適性に関する配慮

タカラレーベン不動産投資法人は、テナントの安全と快適性向上のため、AEDや災害用備蓄、エレベータ内非常用備品の設置、デジタルサイネージによる避難経路の周知などを進めています。また、階段利用を促進するポスターを掲示し、健康増進の啓発を行うなど、テナントコミュニケーションを推進しています。



健康増進啓発ポスター



デジタルサイネージによる避難経路の周知

Ethical Action

LEBEN LABO ETHICAL ACTION



LEBEN LABO ETHICAL ACTION

レーベンラボ・エシカルアクション

「レーベンラボ・エシカルアクション」は、「社会にもっと良いことをしよう」をテーマに、お客さまのさまざまな声を実現するために発足した社内組織です。「幸せを考える。幸せをつくる。」という企業ビジョンのもとに、人と暮らしの幸せを真剣に考えた取り組みが評価され、多くのグッドデザイン賞を受賞しています。2021年にはここから生まれた2つのプロジェクトが選出されました。

 GOOD DESIGN AWARD 2013	<ul style="list-style-type: none">・「ソラパワ」プロジェクト・「ルイック」プロジェクト
 GOOD DESIGN AWARD 2016	<ul style="list-style-type: none">・「個人防災キット」プロジェクト・「もっとあったらいいな」プロジェクト
 GOOD DESIGN AWARD 2017	<ul style="list-style-type: none">・「もっとあったらいいな」プロジェクト・「ソコボス」プロジェクト・「レーベンクラフト」プロジェクト
 GOOD DESIGN AWARD 2018	<ul style="list-style-type: none">・「ワーキングポイント」プロジェクト・「グッドワーキング」プロジェクト・「ソコタク」プロジェクト
 GOOD DESIGN AWARD 2019	<ul style="list-style-type: none">・「モデルルーム、販売センターの防災拠点活用」プロジェクト・「可変設計マンション共用部」プロジェクト・「アートビオトープ『水庭』」プロジェクト
 GOOD DESIGN AWARD 2021	<ul style="list-style-type: none">・IoT宅配ボックス「THROUGH TAKU (スルタク)」プロジェクト・「レーベン検見川浜GRANVARDI」プロジェクト

「モデルルーム、販売センターの防災拠点活用」プロジェクト

マンション分譲の際に設置されるモデルルームは、お客さまに実際の建物をイメージしていただくための見本であり、商談の場となる販売拠点ですが、多くは販売物件ごとに開設され、販売が終了すると撤収します。このモデルルームに、災害時に必要な備品・設備や生活に不可欠な水、自家発電機を活用した携帯電話等の充電設備などを備えて、一般の方々に防災拠点として開放する取り組みを推進しています。2019年度より取り組みを開始し、タカラレーベンの販売する物件の全モデルルームに導入済みです。今後もマンション購入者向け防災キットなど、当社が持つノウハウを積極的に活用し、取り組みを強化していきます。



安心保証サービス「10 for All」、個人防災キット「KIT+」

「住宅」というハコモノだけの提供にとどまらず、「物質的な豊かさ」から「質的な豊かさ」の提供も追求する取り組みとして、安心保証サービス「10 for All」、個人防災キット「KIT+」の提供を開始しています。「10 for All」は、物件引渡し後10年間にわたって、住宅設備機器の延長保証、水漏れ・カギ・ガラスなどのトラブルへの24時間緊急対応+メンテナンスサポート、専有部点検+補修サービスなどを行い、お客さまの安心な暮らしをサポートします。「KIT+」は、「防災グッズ」のように一家に一つではなく、「個人のニーズ」に焦点を当てたアイデアが認められ2016年度グッドデザイン賞を受賞したものです。コンパクトなA4サイズのフォルダーファイル型パッケージに家族それぞれが災害時に必要なものを自身で考えて揃えて、身近に置いておく習慣を提案しています。



1	住宅設備機器の延長保証〈10年間〉 保証期間中に発生した保証対象となる故障・不具合について、何度でも無償修理を実施
2	24時間緊急対応+メンテナンスサポート 水漏れ・カギ・ガラスに関する緊急トラブルへの駆けつけ・一次対応に加え、建具や玄関ドア・サッシなどの不具合にも出張対応を実施
3	専有部点検+補修サービス〈5年目・10年目〉 専門スタッフがお客さま宅を訪問し、ヒアリング・点検を実施、その場で可能な補修・リペアを行う（引渡し5年目・10年目に実施）

IoT宅配ボックス「THROUGH TAKU（スルタク）」プロジェクト

ネット販売やデリバリーの利用拡大に伴って、「不在による再配達」をはじめ宅配をめぐる課題が発生しています。マンションの各住戸に設置される玄関一体型宅配ボックス「THROUGH TAKU（スルタク）」は、居住者・宅配業者の双方に従来の宅配ボックスにない利便性を提供します。居住者は外出先からスマートフォンを使ってデジタルロックを解除して受け取り対応ができるため、宅配業者は再配達の手間がなくなります。さらにコロナ禍で求められる「非対面でのやり取り」の徹底が可能です。また共用部に設けられた宅配ボックスのように、「空いている場所がなくて利用できない」「重い配達物を自分の住戸まで運ばなくてはならない」という不便もなくなります。



「アートビオトープ『水庭』」プロジェクト

建築家・石上純也氏の設計により2018年に誕生した「水庭」は、緻密な計算によって配置された318本の木々と大小160のビオトープ（池）とが織り成す、これまでになかったアート空間を実現しています。2019年度のグッドデザイン賞ベスト100を受賞し、審査では自然のビオトープでないアートビオトープならではの美しさが、「日本の庭園の中に脈々と受け継がれてきた魂そのもの」といった表現で高く評価されました。

「水庭」は、五感を研ぎ澄まして人間と自然の関わりを感じることができる特別なメディテーション空間として国内外の数々のメディアで紹介され、世界中から注目が集まるスポットとなっています。



独自のウォーターシステム「ルイック」プロジェクト

「ルイック」プロジェクトは、生活のすべてに浄活水を利用できるタカラレーベンのオリジナルウォーターシステムです。2008年に誕生して以来、当社が分譲する自社ブランドマンションの全シリーズに採用され、暮らしの基本となる「水」を変えることで多くの皆さまの暮らしを変えてきました。「ルイック」プロジェクトは、常に新技術を取り入れながら進化を続けてきました。現在は、家中の蛇口から浄活水が利用できる「たからの水」、浴槽に浸かるだけで超微細な気泡による洗浄・温浴効果を得られる「たからのミラバスビジョン」、ウルトラファインバブルを含んだ水が肌や髪質を整える「たからのミラブルシャワー」で構成されています。「たからのミラバスビジョン」はゆらぎ浴やスポットケアといった機能を取り揃え、さらに、活性化させた酸素原子で浴槽内の汚れを落とす「マイクロイオニー」機能を新たに搭載しました。

LUIC PROJECT

TAKARA WATER SYSTEM

たからの水

&

たからの
ミラバスビジョン

&

たからの
ミラブルシャワー

※旧名称 たからのマイクロバブルトルネードO₂

洗浄力

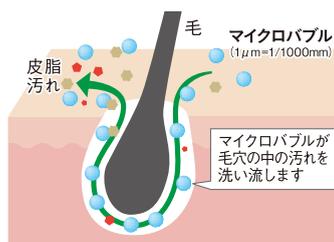
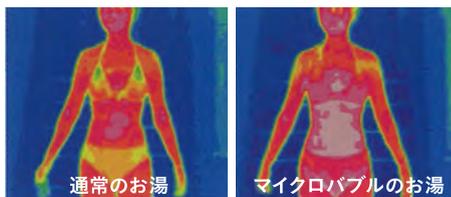


image illust

温浴



image

マイクロバブルを発生させたお湯 (38℃) に5分間入浴した後、15分後に赤外線サーモグラフィで体表温度を撮影。※効果・効能には個人差があります。

NEW MICRO IONY マイクロイオニー

低温プラズマ発生体を
マイクロバブル化させることにより
浴槽内の汚れなどを

分解・殺菌・脱臭

※入浴中は使用しないでください。

実験前

15分経過



all image photo

※ミネラルウォーター約1,000mlにメチレンブルー約0.2gを溶かした水溶液から約250mlを抽出しマイクロイオニーを約15分間発生させた場合の脱色試験となります。

AIRLESS JET エアレスジェット

特殊ノズルにより浴槽内の
お湯全体にぬじれの入った
心地よい対流を起こす

ゆらぎ浴

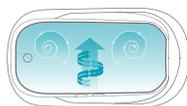


image illust

専用特殊ホースノズルで
トルネードジェットをピンポイントに
当てることが可能な

スポットケア



image photo

特殊加工を施した
“酸素セラミック”をお湯の
吸入口にセットするだけで楽しめる

酸素浴



image photo

※酸素セラミックは別売りとなります。
※効果・効能には個人差があります。

「レーベクラフト」プロジェクト

「レーベクラフト」は、都市部に住むマンション居住者が、居住者専用サイトを利用して、当社グループがマンションを供給した地方の特産品を購入できる仕組みです。首都圏のマンションに住む人と地方をつなぐことで、地方活性化に貢献しています。数あるデベロッパーの中でも、都心部の開発だけでなく地方都市再生事業も行っている当社グループならではの取り組みです。地方の生産者、全国のマンション入居者が双方にメリットのある仕組みとなっており、マンションの付加価値も向上する点が評価され、2017年度グッドデザイン賞を受賞いたしました。



逸品

季節限定、数量に限りがある。だからスーパーでは売っていない。そんな食材探しを行っています。その基本的な考えは、皆さまに健康やかな毎日を送って欲しいという想いです。安全で大人から子どもまで安心していただけるものを厳選しています。

情報

レーベクラフトが発掘した地域に点在する生産地、生産者、生産物の情報を皆さまと共有し日本の新しいチカラや魅力を再発見することで、豊かな暮らしの創造に役立てていただければと考えています。

体験

マルシェなどで知り合った生産者に実際に会いに行く。収穫体験を行い、採れたてのものを食べてみる。田舎の空気をお腹いっぱい吸い、第二のふるさとを発掘する。これまでにない旅行を構想しています。

マルシェ

日本各地から集めた逸品を販売する「レーベクラフトプレミアムマルシェ」を開催。参加する生産者とのコミュニケーションの機会を創出するほか、お楽しみイベントも開催いたします。

レーベングラフト全体構成



Building Value

建物価値の向上

高品質で快適な空間の提供

ISO9001 認証取得による品質向上の取り組み

お客さまの快適な生活環境づくりを総合的に支援するための品質向上を目的として、レーベンホームビルドおよびレーベンコミュニティでは、国際標準化機構により制定された品質マネジメントシステムに関する国際規格「ISO9001」に準拠した品質マネジメントシステムを構築し、認証を取得しています。

定期的に管理プロセスの監視と改善を行い、必要に応じて方針や目標を見直すことで、さらなる高品質なサービスの提供を継続しています。

レーベンホームビルドの取り組み内容

現場施工中	<ul style="list-style-type: none">品質管理および工程管理定期的な工事安全パトロールの実施
物件引き渡し後	<ul style="list-style-type: none">定期的な建物検査の実施アフターサービス体制の確立大規模修繕等の提案



レーベンコミュニティの取り組み内容

マンションの総合管理業務	<ul style="list-style-type: none">事務管理業務組合会計業務建物・設備の管理および修繕業務管理員業務
マンションの修繕工事業務	<ul style="list-style-type: none">マンション共用部修繕業務



マンション管理品質向上の取り組み

サービス品質管理システム (SQMS®)

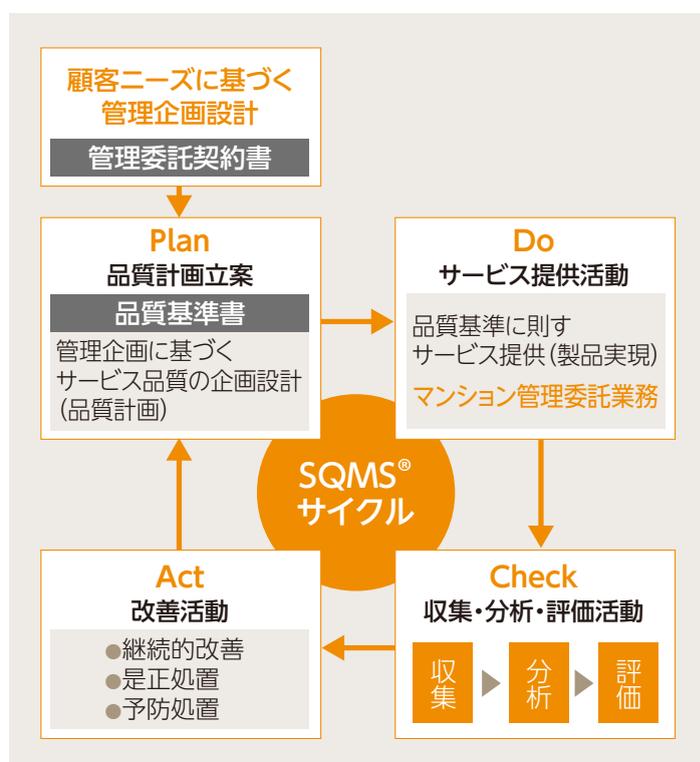
マンション管理サービスを提供するレーベンコミュニティはお客さまの大切な資産を長期にわたり管理し続けるため、独自のサービス品質管理システム (SQMS®) による品質体制を推進しています。品質マネジメントシステムの国際規格「ISO9001」をマンション管理業に適応させたSQMS®は、マンション管理を4つの支援サービス（現場管理・財務管理・資産管理・運営管理）として捉え、それぞれのPDCAを循環させることで、継続的な品質の向上を図っています。

具体的な取り組みとしては、アンケートで収集したマンション管理組合の皆さまの声を担当部門にフィードバックし、幅広くサービスの品質改善につなげています。

SQMS®プロセス図（サービス品質管理）



SQMS®
SERVICE QUALITY
MANAGEMENT SYSTEM



品質理念・方針

品質理念)

当社の品質管理に関する理念を「安全で快適な住環境作り」とし、有言実行の精神をもってここに宣言し、表明致します。

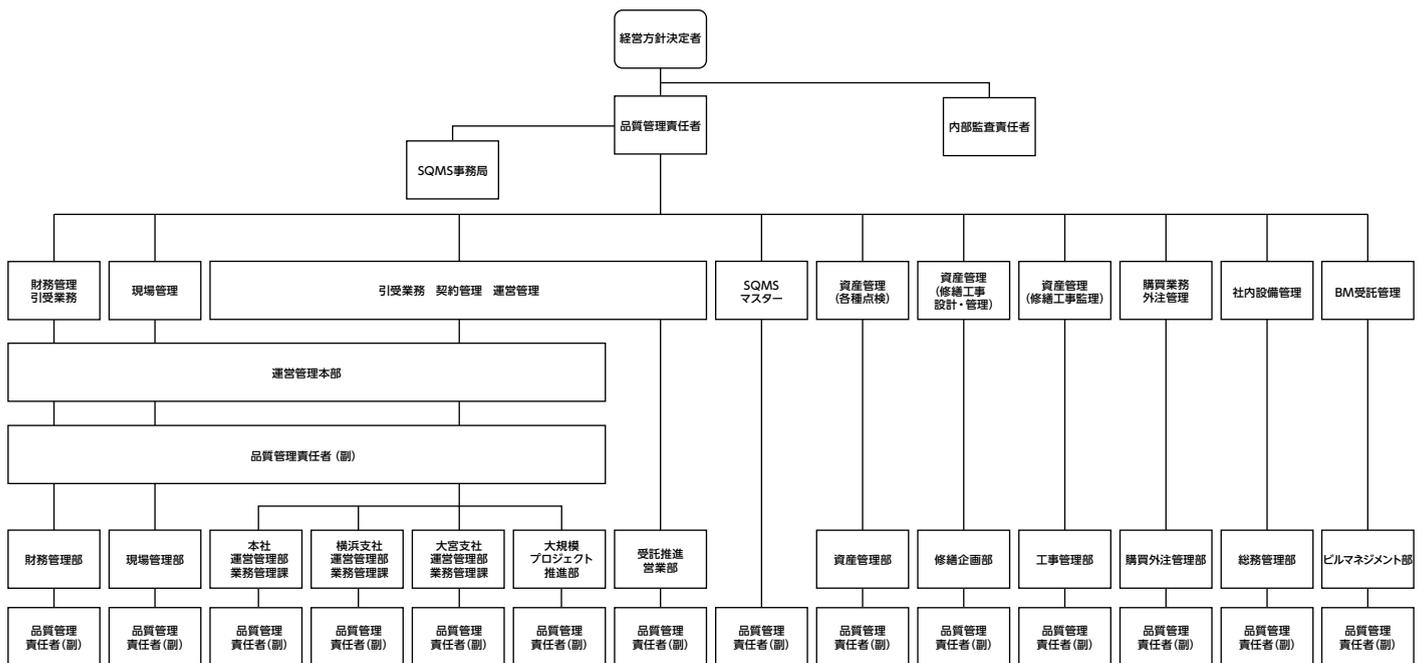
当社は、ISO9001の提唱する品質マネジメントシステムを取り入れ、「迅速、安心、誠実」を全ての社員のモットーとして顧客満足、社会貢献を追求するべくマンション管理事業に取り組みます。

品質方針)

お客様へ「迅速、安心、誠実」なサービスを継続して提供できるように、次の通り品質方針を定めます。

1. お客様にとって必要不可欠な存在となれるよう、自らの存在価値を追求します。
2. 品質基準に基づき、高品質で安心感のあるサービスを提供します。
3. 終わりのなき顧客満足向上のため、品質改善を継続的に追求します。
4. 目的と目標を明確にし、有言実行の精神を具現化します。
5. 関係法令、規範、規則等を遵守し、社会から信頼される企業市民を目指します。

マネジメント体制



品質に関する教育研修

レーベンコミュニティでは、SQMS®を理解し実践する人材の育成に取り組んでいます。若手の人材にはSQMS®の基本的な考え方や特徴を理解してもらうために「SQMS®基礎概念研修」を実施しています。またSQMS®を社内外に展開すべく、実務経験を重ねてSQMS®の概念、品質基準、工程管理等を熟知した従業員にはSQMS®徽章を付与するとともに「SQMS®マスター」として認定しています。この制度は2018年度にスタートし、これまでに13名が認定されています。

2022年度は、SQMS®の研修対象範囲を四国支社などの支社・営業所の従業員まで拡大し、同社におけるSQMS®のさらなる浸透を図りました。



フロントマン研修

管理組合運営を支援するプロフェッショナルとして豊富な知識が求められるフロントマンのサービス品質向上のために、定期的に、全フロントマンを対象に研修を実施しています。「弁護士を招聘しての債権回収業務研修」「SQMS®に基づく業務意識研修」「建築、設備関連研修」など、フロントマンとしての役目を果たすために必要なあらゆるスキルの習得を図ります。



マンション管理員研修

受付業務、巡回業務、清掃業務、相談受付等を担当するマンション管理員には、マンションの快適な住環境を維持するために、適切な業務の遂行はもちろん、笑顔や言葉づかい、身だしなみなどへの気配りが求められます。日々の仕事ぶりに対する居住者からの評価のフィードバック、定期的な管理員研修、さらには研修内容の理解度テストを定期的を実施することによって、サービス品質向上に徹底的に取り組んでいます。

2022年度は、新型コロナウイルス感染拡大に配慮しながら、地方都市において少人数で研修会を実施し、書面連絡だけでは伝わり難い対面での教育も徐々にではありますが、再開しています。



ヒヤリハット事例の共有

マンション管理に関するヒヤリハットを共有することで、サービス品質の維持・向上に取り組んでいます。定期的に配布する「管理員だより」を通して、もう少しで品質事故に至る可能性があった事例を全員に周知しています。また、サービス品質に関する全社研修の中でも、前年度に発生した基準に適合しない事例と対応内容を紹介し、品質事故の低減に役立てています。

2022年度は、個人情報・機密情報の取り扱いに関して重点的に情報発信を行い、お客様の情報を守るべく取り組んでまいりました。

SUUMOアワード

レーベンコミュニティは、購入者が選ぶ「SUUMO AWARD 2022※」において、分譲マンション管理会社の部（首都圏 総戸数100戸未満）の修繕対応部門にて、日常の修繕提案や、長期修繕計画の内容および費用見積もりに納得感があるなど、修繕に関する業務に関して高い評価を得た企業として、「優秀賞」を受賞しました。

※ SUUMO AWARD 2022：首都圏（東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県・茨城県）で新築マンションを購入した人を対象に、マンションデベロッパー・分譲マンション販売会社や管理会社の品質や価格、取り組み内容など、さまざまな観点での満足度について尋ね、ランキング化したもの。



Safety Management

安心・安全な製品とサービスの提供

安心・安全の追求

工程内検査の徹底

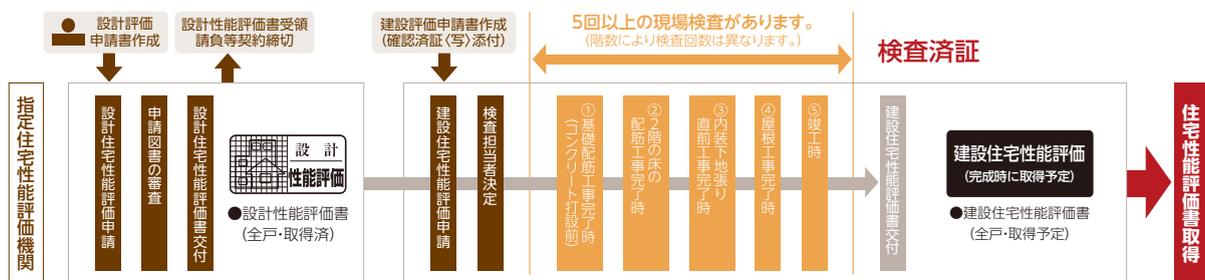
安心して長く暮らせる住まいを提供するために、MIRARTHホールディングスグループでは、工事段階での厳しいチェックを行っています。定期的に担当者が現場で躯体や隠蔽部・下地・仕上げなどについて工程内チェックを実施し、徹底した品質管理に努めています。



(イメージ)

住宅性能評価書を取得

タカラレーベンでは、国土交通大臣から指定された第三者機関による「住宅性能評価書」を取得し、お客さまに提供する住まいの安心を高めています。この評価書を取得するには、「地震や火災などに対する強さ」「劣化のしにくさ」「エネルギー消費量」「メンテナンスのしやすさ」などについて、設計段階で性能評価を受けた上で、5回以上にわたる現場検査を受けながら工事を進め、完成時の厳しい性能評価をクリアする必要があります。



構造の安定	劣化の軽減	維持管理・更新への配慮	温熱環境・エネルギー消費量
地震や風、屋根への積雪などに対し、建物などの程度強いかを評価。 耐震等級(構造躯体の倒壊等防止) その他(地震に対する構造躯体の倒壊等防止及び損傷防止) 地盤又は杭の許容支持力等及びその設定方法 基礎の構造方法及び形式等	新築時の強さをできるだけ長く保つための、耐久性への対策を評価。 劣化対策等級(構造躯体等)	給排水管やガス管、給湯管のメンテナンスのしやすさ(点検・清掃・修理など)を評価。 維持管理対策等級(専用配管) 維持管理対策等級(共用配管) 更新対策(共用排水管)	断熱性を向上するための部材や施工方法などにより、どの程度省エネルギーに貢献するかを評価。 断熱等性能等級 一次エネルギー消費量等級

耐震・耐火構造

耐震構造

マンションの施工においては、地中の支持層まで強固な杭を直接打ち込む「杭基礎」や、直接強固な地盤に支持させる「直接基礎」、また、地震のエネルギーを分散させ、大きく長い揺れを低減する免震装置など、地盤の性状や支持力に合わせ最適な工法を採用することにより、建物の耐震性を高めています。

戸建て住宅の施工では、設計の自由度が高く将来的な増改築などの変化にも柔軟に対応可能な木造軸組工法と、耐久性・安全性に優れ地震や災害に強いパネル工法を採用しています。また、建物を支える床面全体に鉄筋コンクリートを敷き詰める「ベタ基礎」方式を標準で採用することで、高耐震・高耐久工法による強固な基礎を構築しています。

優れた耐火構造と遮音性能

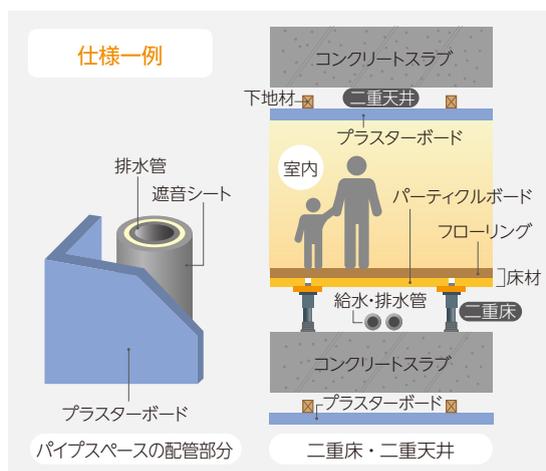
マンションの施工に防災性の高い部材を使用しています。耐火性能、遮音性能の基準が法令により定められ、耐火性能、遮音性能が強く要求されるマンションの戸境壁（住戸と住戸の間を区切っている壁）のコンクリート厚については、約180mm確保しています。また居室に面するパイプスペースの配管部分に防火遮音措置を採用しています。

最適な構造・設備のセレクト

床や扉、水回りなどの内装だけでなく、天井、パイプスペースの配管部分など建物内部の構造に至るまで、その土地、そこに住むお客さまに合わせて、物件ごとに仕様を変え、最適な構造・設備を組み合わせています。



物件ごとに最適な設備を導入



(概念図)

無事故への取り組み

MIRARTHホールディングスグループでは、職場や建設現場での労働災害の撲滅に努めています。

安全衛生パトロール

マンションの建築工事等を担うレーベンホームビルドでは、毎月1回以上の安全衛生パトロールを通して、より安全な建設現場の実現に取り組んでいます。月例・日常点検や有資格者の配置といった安全衛生管理の実施状況を確認するとともに、安全訓示等によって安全意識の向上を図っています。

また、四半期に1回、経営トップと協力会社による合同の特別パトロールを実施しています。2022年7月には全国安全週間※に合わせて、協力会社8社の代表者とともに4ヵ所の建設現場を訪れ、日常管理、場内整備、災害防止、墜落防止、機械災害防止といった観点から、実際の建設現場や作業の状況をチェックし、対策の実施を促しました。

※ 全国安全週間

厚生労働省と中央労働災害防止協会の主唱により実施されている産業界における自主的な労働災害防止活動の推進、安全意識の高揚と安全活動の定着を目指す取り組み



安全大会

当社グループでは、安全衛生管理のさらなる推進と、建設現場で働く人たちの安全衛生にかかる知識および安全に対して意識を高めることを目的として「安全大会」を開催しています。

レーベンホームビルドは「全国安全週間」に合わせ役員、従業員、協力会社が一同に会し2022年7月に安全大会を開催しました。さらに同社では、全国安全週間にオフィスと作業所が緊密に連携し、三大災害（墜落・転落災害、建設機械・クレーン等災害、倒壊・崩壊災害）防止策をはじめとする安全衛生管理活動の強化に取り組んでいます。

また、レーベンコミュニティでは協力会社42社の参加のもと2022年10月に安全大会を開催し、日ごろの安全対策について特に優秀な協力会社5社と、高い安全意識で業務に取り組んだ従業員6名を表彰しました。



レーベンホームビルド安全大会



レーベンコミュニティ安全大会

協力業者への安全対策指導

マンションの修繕工事を手掛けるレーベンコミュニティは、協力業者と連携して安全かつ居住者の生活への影響が少ない工事の遂行に取り組んでいます。大規模修繕工事がマンションの管理組合総会で承認されると、同社の修繕企画担当者と工事監理担当者および主要な工事関係者で構成された職長会のメンバーが現地に集合し、工事開始前に足場の設置方法や仮設設備（事務所、トイレ、防犯扉ほか）の配置状況、安全対策などを細かく確認、検討しています。



Disaster Response

災害への対応

安全・衛生管理

レーベンコミュニティにおける危機管理体制

レーベンコミュニティでは、マンション居住者の安心・安全な暮らしを守るために、盤石な危機管理体制を整えています。

安全管理

マンションの諸設備に異常があった場合、遠隔監視システムによって、すぐに電話回線を通じて警備会社へ情報が送られます。そして必要に応じて、巡回の警備スタッフによる緊急対応が行われます。また、エレベーターや消火設備などのトラブルに対しては、点検やスタッフの研修を実施することで、いざという時に的確に対応できる体制を整えています。



大規模災害時の対応

2011年3月に発生した東日本大震災では、即座に緊急地震対策本部を設置し、速やかな初期対応を実施しました。また、震災復旧工事の際は、迅速・安心・誠実の理念のもと、設備や修繕について培われた知識・技術を活かし、各管理組合の目線に立ったサポートを実施しました。



大規模物件における危機対応

レーベンコミュニティは長年の経験をもとに、各地の大規模マンションでの新型コロナウイルス感染対策に取り組んでいます。2020年度は、約1,100世帯が暮らす「パークシティ溝の口」（神奈川県川崎市）でも、管理組合、自治会、管理防災センターと協力し、感染を徹底して予防するとともに感染者の発生に備えるために組織的な危機対応を行いました。具体的には午前と午後の各1回、居住者が日頃よく手を触れるエレベーター内の押しボタンや手すり、インターホンパネル、ドアノブなどの消毒作業を行い、徹底した感染対策に取り組みました。そのほかに、居住者には、家庭内での感染対策（換気、不要不急の外出自粛など）、マンション敷地内での注意事項（マスクの着用、エレベーター内の会話自粛、感染リスクを減らすゴミの捨て方など）を細かく呼び掛けました。また「感染したのでは感じた場合」「感染がわかった場合」に必要な情報をわかりやすく整理して伝えることで、適切な行動を促しました。加えて、これらの感染防止の取り組みの集大成として、「感染予防のしおり」を作成して、居住者に配布しました。このしおりでは感染対策のほかに公的機関の相談窓口、敷地内にある感染症専門医院の紹介、周辺のテイクアウト、デリバリー対応店の紹介や還付金詐欺への注意喚起なども記載し、コロナ禍での暮らしを幅広く支援しました。



パークシティ溝の口 管理組合 自治会 管理防災センター
2020/5/1 現在

ParkCity **パークシティ溝の口 居住者の皆様** 寄り添えよう！ 期り合おう！

新型コロナウイルスは症状が出ていなくても感染している場合があります。感染しない、させないように気を付けましょう。またマンションでの感染はクラスター発生（集団感染）につながりかねません。皆様のご協力を何卒、宜しくお申し上げます。

①各家庭で感染予防

- 不要不急の外出は避けよう。
- 止むを得ずの外出は必ずマスクをしよう。
- 屋内は常に換気に気を配ろう。
- 密度（2m）の距離を保とう。
- 人が集まるところは避けよう。

うちで換気しよう
マスクをしよう
換気をしよう

②マンション敷地内での注意

- 集会室等の利用は当面禁止しています。併せて対面でのサークル等の活動もお控えください。（管理組合、自治会、管理会社の管理業務等での利用は除く）
- エレベーターのボタンに触れるときはロービーで消毒済で手、指の消毒をしましょう。
- エレベーターが混み合っているときは1本退避させましょう。
- ロビーで長時間の滞在や会話控えましょう。

エレベーター部に消毒を

エレベーター内での会話

共用部での長い時間の会話

③ゴミの捨て方

特にティッシュや使用済みのマスクを含む家庭ゴミの捨て方には注意を払いましょう。感染防止はもちろん清掃員の方への感染予防対策として有効です。

ゴミ箱には
ゴミ袋を捨てて消毒

いっぱいになる前に
しっかりとしばる

ゴミ箱で袋は
必ずしっかりと消毒

便利情報

テイクアウト・デリバリー

パークシティ溝の口 敷地から近い、もしくは、ご自宅まで宅配可能な飲食店の情報です。

ココロコト TEL:044-299-8206 お昼 11:00~18:00 夜 19:00~21:00 https://kocokoto.jp/	フアンモスラ・風月 / SYOCA TEL:044-8663-9986 お昼 11:00~15:00 夜 18:00~20:00 https://fuanmosura.com/	溝の口テイクアウト https://mitsukouchi-takeout.glideapp.jp/ お昼 11:00~15:00 夜 18:00~20:00 https://mitsukouchi-takeout.glideapp.jp/
---	---	---

イトーヨーカドー 非接触宅配サービス (溝の口店でも実施中 2020/5/1 現在)

イトーヨーカドー ネットスーパー <https://www.ito-yokado.jp/information/iseosentaf/>

「非接触お届けサービス」実施しています。お問合せ 044-844-1711

イトーヨーカドーネットスーパーは3時間以内にお届けいたします。セーター、マスク、高熱インフルエンザ等も取り扱いしております。お電話はそのままお申し込みいただけます。すべて電話でお届けいたします。

給付金申請にご注意ください！

注意！給付金詐欺

政府が全国民に一律10万円を支給することが決まるとともに、「申請の代行」をかたり、個人情報を引き出すとする詐欺メールが発生しています。

コロナウイルス感染症に関する連絡先一覧

川崎市新型コロナウイルス感染症コールセンター
TEL:044-300-0730 受付時間:24時間(土日・祝日も要請)
神奈川県新型コロナウイルス感染症専用ダイヤル
TEL:045-285-0536 受付時間:9時00分~21時00分(平日及び土日)
厚生労働省 電話相談窓口(コールセンター)
TEL:0120-363633(フリーダイヤル) 受付時間:9時00分~21時00分(平日及び土日)

管理防災センターの投函箱にコロナ対策に感ずるお困りごと、ご要望をお寄せください

例) 感染予防、健康に関すること
感染者が出た場合の対応に関すること
敷地内の点検ごと(消毒、使用禁止区域の設定など)
生活に関するご希望(敷地内でのゴミ捨て場、必要品配達・配達など)

各棟1階ポストに「管理組合」宛てのポストも設けています。

管理組合

防災対応

防災訓練

レーベンコミュニティでは、マンションにおける居住者の皆さまのコミュニティの安心・安全をサポートしています。お年寄りやお子さまを含む居住者の皆さまにとって、いざという時にマンションに備えられた消防設備などを適切に利用したり、正しい避難経路から迅速に避難することは簡単ではありません。同社では、安全対策の一環として管理組合と連携し、防災訓練を実施しています。2022年11月に実施した防災訓練では、新型コロナウイルス感染予防の観点から参加者を限定し、実際の避難経路に沿った避難訓練、AEDレンタル会社や自動火災報知設備の保守点検会社による実地指導、参加者全員による消火器を使った消火訓練を行いました。



AED機器の実地指導



消火器を使用した消火訓練

HOTEL THE LEBEN OSAKA 「防災体験 Missionプラン」

阪神・淡路大震災、東日本大震災等の大型の災害が発生以降、防災への意識が都度高まり続けています。タカラレーベンは、グループ初のホテルブランド1号店「HOTEL THE LEBEN OSAKA」（2022年3月開業）において、家族で防災について学び、話し合うきっかけを提供する「防災体験Missionプラン」を展開しています。同プランでは、照明のつかない不便な客室で1日を過ごしながら、防災グッズを使い、保存食を食べてもらうことによって、災害時を疑似体験してもらいます。客室には冊子「“防災 Mission 7～我が家の防災ルールを作ろう～”」が用意されており「集まる避難場所を決めよう」「家族の防災グッズを考えよう」といった7つのMissionを解き進めていくと、オリジナルの防災ルールブックが完成し、それを持ち帰って活用していただける企画となっています。近隣の公的機関や学校においても冊子の配布や「防災体験 Mission プラン」への招待を実施するなど、地域の防災、子供たちへの防災教育に積極的に貢献していく予定です。



• HOTEL THE LEBEN OSAKA [📍](#)

災害時の電力供給

災害時における電力の供給等に関する協定締結

レーベンクリーンエナジーは、中小規模の太陽光発電所を中心に再エネ電源の開発を進めており、各地域と相互に協力して災害時における安全確保や防災強化にも取り組んでいます。地域との連携を一層強化し、災害対応力のさらなる向上を図るため、2021年10月に北海道茅部郡森町と、2022年4月には北海道厚岸郡厚岸町と災害時における電力の供給等に関する協定を締結しました。

今後も災害対応力のさらなる向上を図ることで、災害時における生活の早期安定化に努めていくとともに、電力の安定供給とレジリエンス向上に取り組めます。



災害地域への貢献

災害地域への損害保険登録鑑定人派遣の実施

レーベンコミュニティは、2022年の福島県沖地震で被害を受けた福島県・宮城県エリアにおいて、主要保険会社と連携をはかり、2022年4月から8月までの5か月間にわたって当社所属の鑑定士2名を派遣し、計289件の損害鑑定業務を実施しました。

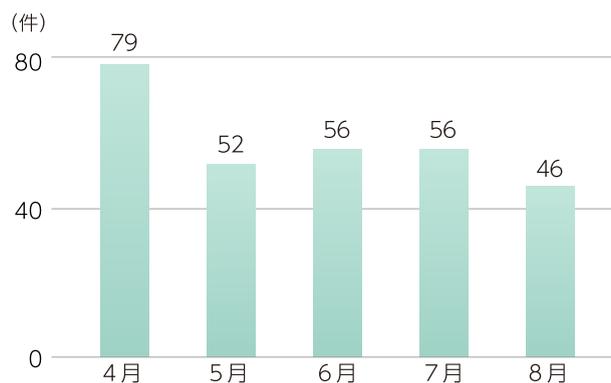
鑑定士を在籍させ、保険会社からの依頼で損害鑑定・損害復旧工事を業務とするマンション管理会社は他に例がなく、業界初の取り組みとなります。被災者への早急な保険金支払いに多大な貢献をしたとの評価を受け、2023年3月6日に主要保険会社より感謝状が授与されました。

同社は今後も、保険会社からの依頼で損害鑑定・損害復旧工事を行うなど、マンション管理に留まらない事業領域の拡大を図ります。

鑑定実施件数

2022年4月	79件実施
2022年5月	52件実施
2022年6月	56件実施
2022年7月	56件実施
2022年8月	46件実施
合計	289件

鑑定実施統計（2022年）





Diverse Lifestyles

生活の多様化

多様な暮らしのニーズに対する提案

アイデアコンペティション「新常識Pic」

新常識Picは、「新しい新常識始まる」というスローガンのもと、アントレプレナーシップの醸成、新常識を生み出す企業体質の構築を目的とした新規事業提案制度です。2022年度のエントリー数は350件以上となり、一次審査を通過したアイデアは、メンタリングや様々な研修に参加しながらアイデアをブラッシュアップし、二次審査、そして最終審査の役員前プレゼンテーションに挑みます。収益性や市場性が認められて事業化が決定すると、発案者はそのアイデアをもって「事業会社として独立する」「新規部署の責任者として任命される」「会社にアイデアを譲渡する」といった選択が可能になります。



都市型コンパクトマンション「NEBEL」

MIRARTHホールディングスグループは、多様化するライフスタイルニーズに合わせたサービスを提案しています。

近年、共働き世帯や単身世帯の増加により、住まいへの需要が変化し、広さよりも都心や駅に近いなど利便性の高い物件へのニーズが高まっています。タカラレーベンはお客さまのこうしたライフスタイルの変化に合わせ、単身者・DINKs向けの都市型コンパクトマンション「NEBEL」シリーズを提供をしています。

当シリーズは、当社がこれまでの新築分譲マンション事業で培ってきた、ものづくりのノウハウを最大限に生かし、多様化した暮らしのあり方を捉えた都市型コンパクトマンションブランドです。現在供給しているファミリーマンションのデザイン性や仕様、設備のクオリティを本コンパクトマンションでも踏襲し、東京、埼玉、神奈川、仙台などの各地に「NEBEL」シリーズを展開しています。今後も、現代のライフスタイルなど社会のニーズに合わせた物件の供給により、より一層お客さまの充実した暮らしを支えていきます。

NEBEL



ネベル草加アートフィロス



ネベル赤羽



ネベル仙台 Plaisir



ネベル横浜

• NEBELブランド [🔗](#)

新しい生活様式への対応

ノントッチキーと非接触式エレベーター

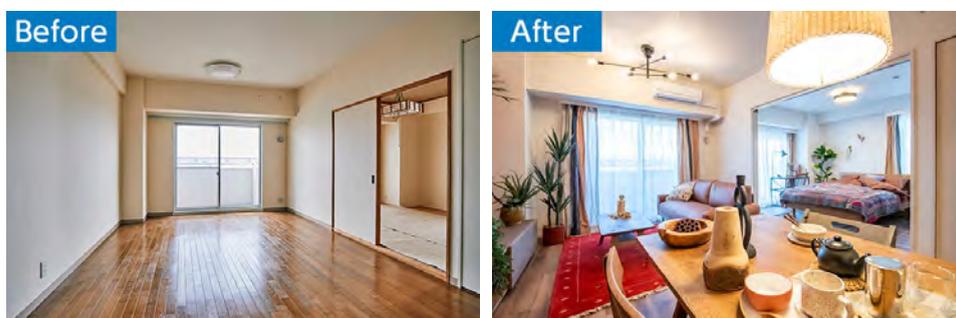
2023年2月に竣工したタカラレーベングループ創業50周年記念物件※「レーベン横浜山手ONE WARD COURT」（神奈川県）では、ニューノーマルの生活様式に配慮した設備によって、入居者の安心・安全を実現しています。入居者が外部から入館する際は、共用玄関のセンサーに住戸玄関のディンプルキー（ICチップ内蔵）をかざすだけで、手を触れずにオートロックドアを解除することが可能です。またエレベーターについても、手をかざすだけで階数ボタンを操作できる機能が採用されています。

※ 創業50年（2022年9月21日）を記念して展開する、「歴史・由緒ある土地や希少な立地など、新たなランドマークになり得る立地を備え、地域社会のインフラ整備に寄与する」と位置付ける物件。



時代や地域に合わせたリノベーション

レーベンゼストックでは、多様化するライフスタイルに対応する良質な中古マンションを提供しています。賃貸中の中古マンションを買い取り、入居者が退去した後に、時代や地域に合わせた仕様へとリノベーションを施し、魅力あるマンションとして生まれ変わらせます。高いデザイン性と住み心地を兼ね備えた新築マンションの「LEBEN」ブランドを継承した、今までにないリニューアルマンションを実現しています。



選べるリースバックプラン

レーベンゼストックでは、売却後も今の家にそのまま住み続けられる「リースバック」のサービスを提供しています。また、いらなくなった家具や粗大ゴミを処分する「おまかせリースバック」、65歳以上のご高齢の方を対象に定期的に安否確認を行う「みまもりリースバック」、物件の管理費と修繕積立金といったランニングコストのみの支払いで住める「超短期リースバック」の3つのオプションパッケージを用意し、多様化するニーズに対応しています。

レーベンゼストックの「リースバック」は、ご売却後も、今の家にそのまま住み続けられるサービスです。

「リースバック」をご利用されているのは、こんな方たち!

- 1 新居購入前に**
近隣の住まいの相場や築年数を調査するために、早く売却して資金も確保したい。
- 2 仮住まいを検討されている方に**
新居に引っ越すまでの期間、仮住まいではなく、今の家に暮らしたい。
- 3 生活資金に**
家も売って老後の生活資金を確保したいけど、今の家に住き続けたい。
- 4 相続に**
相続する人がいない家や今の家に住みたいが、売却や賃貸が難しい家がある。

リースバックに、3つの選べるプラン登場!

レーベンゼストックでは、今の住まいに住み続けたいまま売却することができるリースバックに、「おまかせリースバック」、「みまもりリースバック」、「超短期リースバック」の3つのオプションパッケージをご用意しています。各プランは併用可能です。詳細は担当までご確認ください。

おまかせリースバック
お引越しの準備が完了した段階で、おまかせリースバックのサービスが開始されます。おまかせリースバックは、おまかせで家具や粗大ゴミの処分を行います。おまかせリースバックは、おまかせで家具や粗大ゴミの処分を行います。

みまもりリースバック
65歳以上のご高齢の方を対象として、定期的に安否確認を行います。もしも急な病気や事故などでご家族や介護施設などに連絡が入ることで、驚かすことなく安心して暮らすことができます。

超短期リースバック
最低でも6ヶ月以上、最長1年以内の契約のみが対象となりますが、賃料は物件の管理費と修繕積立金といったランニングコストのみの支払いで住めるサービスです。

Globalization

グローバル化への対応

海外における事業展開

MIRARTHホールディングスグループは、今後もベトナム・タイでの事業展開のみに留まることなく、新築分譲マンション事業を中心に、海外における住みよい環境づくりに貢献していきます。

「THE MINATO RESIDENCE」プロジェクト

タカラレーベンは、日本のみならず海外においても住まいを通して地域の活性化や都市の発展に貢献する取り組みを進めています。

「THE MINATO RESIDENCE」は、ベトナムの人口第3位の都市ハイフォン初の、開発・建築・管理まですべて日系企業が手掛ける大規模マンション開発プロジェクト（敷地面積12,760m²／地上26階／924戸規模）です。

今後もさらなる経済成長や商業発展の期待が見込まれる新市街地エリア「Water Front City」に、商業施設を備えた複合型分譲マンションとして、第1棟である南棟が2021年12月に竣工し、2023年3月には第2棟である北棟の販売を開始しました。



• THE MINATO RESIDENCE [🔗](#)

ベトナムにおけるリノベーション事業

タカラレーベンとレーベンコミュニティは、2021年12月にベトナム・ホーチミン市において豊富な実績を持つ企業Halato社（Halato Joint Stock Company）と提携し、リノベーション事業に参画しました。ホーチミン市では多くの大型複合開発が行われていますが、中心部が局地的に近代化する一方で、大通りから一步入った場所や中心部以外の街中には老朽化した建物が点在しているため不動産用途の不一致が発生し、エリア全体としての発展の妨げとなっています。当社グループが日本国内で培った不動産開発技術と、Halato社の専門性・経験を掛け合わせて、老朽化した建物をより価値ある不動産へリノベーションすることで、ホーチミンの街づくりに貢献していきます。



コンドミニアム事業「ATMOZ MINBURI」プロジェクト

タカラレーベンは2022年1月より、ASSETWISE社（ASSETWISE PUBLIC COMPANY LIMITED）と共同で、タイ・バンコクにて3例目となるコンドミニアム事業「Atmoz Flow Minburi」（以下、本プロジェクト）に参画しました。ASSETWISE社は、現地で多くの開発プロジェクトを手掛け、高品質かつ洗練されたデザインの商品を提供するデベロッパーです。

本プロジェクトはバンコク中心部より北東に約20kmのミンブuri区における新築分譲マンション（敷地面積9,652㎡、鉄筋コンクリート造地上8階建の3棟構成、総戸数739戸）で、タイ・バンコクでASSETWISE社と共同で行う「Atmoz Bangna」「Kave Seed Kaset」に次ぐ、3例目の新築分譲マンション開発プロジェクトとなります。

本プロジェクトが位置するエリアは、2023年に開通する予定の新線ピンクライン「ミンブuri市場」駅徒歩約4分と交通の利便性も高く、周辺には複数の工業団地、病院、ショッピングモール等が揃っています。

またASSETWISE社が商住一体の複合開発プロジェクト「Wise Park」を進行しており、「健康促進」「持続可能」をコンセプトに老若男女問わず全ての世代が快適なライフスタイルを築けるコミュニティの形成を目指しています。

今後「Wise Park」では、本プロジェクトの「Atmoz」シリーズを始め、4期に分けた新築分譲マンションや、2023年12月に完成予定の新たなショッピングモールが開発される予定です。



Aging Society

少子高齢化・人口減少に伴うビジネスモデルの変化への対応

老後の健康のために

リハビリ特化型デイサービス「マイリハ」

レーベンコミュニティが展開する「マイリハ」は、簡単で楽しいトレーニングによって自立を支援するリハビリ特化型デイサービスです。2011年から埼玉県・千葉県に展開し、地域に根差した施設として要支援・要介護認定を受けた皆さまにサービスを提供しています。社会の高齢化が進み、老後の健康についての悩みや不安を抱える皆さまが増える中、マイリハは「利用者の幸せとは何か」「マイリハとして何ができるのか」を考え、レッドコードエクササイズ※をはじめとする独自のプログラムで健康寿命の延伸への貢献を目指しています。現在は埼玉県・千葉県で5つのリハビリセンターを運営しています。

※ レッドコードエクササイズ：リハビリ先進国ノルウェーで生まれた天井から吊るした赤いロープを使うトレーニング。



City Development

都市開発・街づくり

地方創生

静岡県沼津市町方町・通横町第一地区市街地再開発

タカラレーベンはフジタと共同企業体を構成し、静岡県沼津市町方町・通横町第一地区市街地再開発組合と特定業務代行者基本協定書を11月16日に締結しました。

本事業は、1954年に日本初の防火建築・共同建築様式による商店街として誕生したアーケード名店街の一部街区を再開発するもので、再開発を通じて中心市街地の再整備を目指します。2024年に解体工事および整地工事に着手し、2027年8月には地上10階地下1階の住宅100戸および店舗を完成させる計画です。

MIRARTHホールディングスグループは、都市が抱えるさまざまな課題を解決していくと同時に、機能性や居住性を向上させ、安全・安心で魅力あるまちづくりを実現するとともに、各種まちづくり手法等を活用し、土地や建物の所有者・権利者、そして行政とも連携を図りながら、三者一体となって都市再生に取り組んでいきます。



百貨店跡地再開発計画

タカラレーベンは、1843年より山梨県甲府市中心市街地において商売を営んできた岡島百貨店を中心とした土地を取得し、同市内において3棟目の開発となるタワーレジデンスと商業施設、自走式駐車場で構成した複合施設を開発します。

当施設は、県内随一の規模を誇るタワーレジデンスをはじめ、「岡島のDNA」を引き継いだ次世代の商業施設やイベントの開催が可能な広場、自走式駐車場の整備を計画しています。都心部からの移住者を含む「まちなか居住」の増加と中心市街地への誘客を促進し、居住者や来街者の回遊の起点となるとともに、中心市街地の賑わい再生につながる開発を目指します。



アクアイグニス淡路島

タカラレーベンおよびタカラアセットマネジメントは、複合型天然温泉リゾート「アクアイグニス淡路島」（兵庫県淡路市）事業に参画しています。本施設は、国内で初めて認定された国営公園Park-PFI※事業です。

本事業は、地方自治体に限らず異業種とも連携しながら、新たな事業スキームとして地域活性化および地域の価値向上に貢献するものと考えます。タカラレーベンおよびタカラアセットマネジメントは、本事業地が淡路島の北端にあたり、関西方面からのアクセスに優れていることから、通過点となっていた淡路島を目的地とし、既にアクアイグニス社が展開を行っている三重県の「アクアイグニス」「VISION」同様のポテンシャルを秘めていると判断し、出資を決定しました。

今後も、本事業のように国営公園と手を取り合い、より良い公民連携のあり方を模索しながら、淡路島の観光業の発展を目指し、地域活性化に向けて邁進していきます。

Park-PFI：「公募設置管理制度」の呼称。公募により民間事業者の資金やノウハウを活用する都市公園の新たな整備・管理手法。



地域密着型ショッピングセンター『tonarie』

MIRARTHホールディングスは、地域密着型ショッピングセンター「tonarie星田」（大阪府交野市）を日本エスコンと共同開発しました。

周辺は、「星田駅北土地区画整理事業」（施行面積約26.4ha）の区域内であり、分譲マンションや戸建住宅、医療施設、公園など新たな開発が進み、今後さらなる発展が期待されるエリアです。当該商業施設は、当エリアの中でも「星田」駅前の利便性の高い場所に位置しております。スーパー、ドラッグストア、100円ショップ、医療モールといったテナントが揃う地域密着型の商業施設として、地域発展の一助となり、地域に愛されるよう目指していきます。

これまで当社と日本エスコングループが培った商業施設開発・運営ノウハウを活かし、地域のコミュニティ形成、地域の活性化に貢献していきます。



南小岩六丁目地区第一種市街地再開発事業

総武線小岩駅の開業から百余年の歴史を刻んできたJR小岩駅周辺地区では、現在複数の大規模再開発事業が進行しています。

地権者、デベロッパー、居住者、利用者等が連携し、再開発で生まれ変わるあたらしい小岩を盛り上げていくための組織として、一般社団法人小岩駅周辺地区エアリアマネジメント（KOITTO※）が設立され、南小岩六丁目地区第一種市街地再開発事業に参画するMIRARTHホールディングスが特別賛助会員として参画しています。

KOITTOでは、①地域の協力連携を促進する企画、イベントの推進 ②エアリアマネジメント拠点「KOITTO TERRACE」の運営・活用 ③小岩駅周辺地区のエアリアプランディング活動 ④再開発の進捗に合わせた公共的空間の利用検討等に取り組んでいます。

先行して竣工した当再開発事業のⅠ街区「FIRSTA Ⅰ」には、エアリアマネジメント拠点「KOITTO TERRACE」が設けられ、小岩駅周辺のエアリアマネジメントを推進しています。

※ KOITTO：小岩駅周辺地区のエアリアマネジメントに取り組むため、2020年11月に設立された一般社団法人。2022年3月29日に都市再生推進法人*に指定されました。

* 都市再生推進法人：都市再生特別措置法に基づき、都市の再生に必要な公共公益施設の整備等を重点的に実施すべき土地の区域のまちづくりの中核を担う法人として、市町村が指定します。



エアリアマネジメント拠点「KOITTO TERRACE」 「FIRSTA Ⅱ」広場スペースでのマルシェ

青森市新町一丁目地区優良建築物等整備事業「THREE」

タカラレーベンは、新町街づくり（株）とMiK（株）が進める青森市新町一丁目地区（中三百貨店青森本店跡地）優良建築物等整備事業「THREE」に参画しました。2023年4月に開業した「THREE」は、「衣・医」「食」「住」の3つが融合する地上14階建の施設で、1～4階に商業施設、5階以上が全85邸の住戸からなるタワーレジデンスです。同社は、「THREE」の住宅保留床を取得し住宅分譲事業を担うことで、青森市の中心市街地活性化に貢献します。下層階には、クリニックモールや飲食街があり、渡り廊下でつながる駐車場棟（アネックス棟）の1階には食料品スーパー（マルシェ）が入るなど、豪雪エリアでありながら雪のストレスを感じさせない生活が可能です。地方都市の百貨店再生の新たな提案となります。



高岡駅前東地区優良建築物等整備事業

富山県第二の都市・高岡市では、活力とにぎわいあるまちづくりを目指して、高岡駅周辺の再開発事業が活発に行われています。

タカラレーベンは2015年、中心市街地の「末広西地区暮らし・にぎわい再生事業」における商業・公益・住宅の一体開発事業に参画し、街の新たなシンボルとなる高層レジデンス「レーベン高岡MID RISE TOWER」（地上16階）を整備し、中心市街地の人口回復を図りました。

また現在は、多くの市民の皆さまから期待と注目が集まる「高岡駅前東地区優良建築物等整備事業※」では、駅前のにぎわいづくりと良質なまちなか居住を目的としています。この事業の施行者として、タカラレーベンは関係権利者の皆さまと共にプロジェクトの推進に取り組んでいます。

※ 優良建築物等整備事業：市街地の環境の整備改善、良好な市街地住宅の供給等に資するため、土地の利用の共同化、高度化等に寄与する優良建築物等の整備を目的とした国土交通省の制度



まち再生への取り組み

当社グループは、事業を通じた地方創生を推進するとともに、物件供給エリアの地域活性化やまちづくりの活動にも積極的に取り組んでいます。

高岡クラフト市場街2022

400年以上続く伝統工芸・ものづくりのまち富山県高岡市の魅力を”ものづくり”をキーワードに発信する「クラフト市場街」にタカラレーベンは2021年から参加しています。2022年9月には「レーベン高岡 MID RISE TOWER」のANNEX棟にて「モデルノコモノ&マルシェ」を開催しました。

「モデルノコモノ」は同社のモデルルームで使用したインテリア雑貨などをリユース（特別価格で販売）する仕組みをつくることで、サステナブルな暮らしを応援する取り組みです。

またマルシェでは地元の伝統工芸品の展示販売に加え、大人気の山形名物芋煮やオーガニック農産物等を販売、当日は当社従業員もスタッフとして参加し、大盛況の3日間となりました。



日本海高岡なべ祭り

新鮮な食材いっぱいの鍋料理を楽しむ、冬の高岡を代表するビッグイベント「日本海高岡なべ祭り」にタカラレーベンは、2019年から参加しています。2023年1月開催の「第37回日本海高岡なべ祭り」では「レーベン高岡 MID RISE TOWER」の地権者の皆さまと連携し、なべ祭りおよび「スエヒロマルシェ」を共催、同社からも14名の従業員がイベントスタッフとして参加しました。毎年大好評の山形名物の芋煮は900食を超える販売となり、地域の皆さまに喜んで頂きました。この取り組みを高岡市の中心市街地の復興支援に着実に繋げていきたいと考えています。



プレミアムマルシェ

「レーベクラフト」プロジェクトの一環として行っているアクティビティが、タカラレーベンのマンションおよび周辺住民の皆さまにさまざまな地方の逸品を手にとってもらい、品質の良さを感じてもらう「プレミアムマルシェ」です。

地方創生の一端を担うとともに、全国各地でのマンション開発で出会ったこだわりのモノ・コトを通して、多くの皆さまと感動を分かち合いたいという想いが込められています。

2022年度は「高岡クラフト市場街」「第37回日本海高岡なべ祭り」にてそれぞれ「マルシェ」「スエヒロマルシェ」と銘打って開催、農産物や工芸品などの生産者の皆さまとマルシェご来場の皆さまとの交流をはかりました。



赤羽納涼フェスタ2022

タカラレーベンは、赤羽のまちづくりの一助となるべく2018年から「赤羽納涼フェスタ」に参加しています。3年ぶりの開催となった2022年は、同社からスタッフとして17名の従業員が参加し、恒例となっているアイスクリームに加え、特大フランクフルトやドリンクを販売しました。

地元のご家族連れを中心に賑わった会場では、盆踊りやフラダンス等も披露される中、同社の屋台はイベント終了時間前に全て完売となるなど、大盛況の2日間となりました。

今後も赤羽でのまちづくりに参画する一步一步の積み重ねとして、地元の皆さまとの交流を図り、地域活性化に貢献していきます。



Social Contribution

社会貢献・復興支援活動

一般社団法人 明日へのチカラへの寄付

タカラアセットマネジメントは、一般社団法人 明日へのチカラへの寄付を行っています。

同社団法人は、すべての子どもが希望を持って成長できる社会を実現するため、社会の課題に挑む大人たちを応援しています。運営する「ドコデモこども食堂」は、食事や見守りを必要とする子どもが地域の飲食店で、いつでも・無料で・安心してご飯を食べられるようにする仕組みです。

単に、子どもたちに食事を提供する事にとどまらず、地域で子どもたちのために活動する支援団体と地域の飲食店が協力することで、子どもたちが地域とつながる機会をつくります。



鎮守の森のプロジェクトへの寄付

タカラレーベン東北（現タカラレーベン）は「鎮守の森のプロジェクト」に賛同し、寄付を行っています。

「鎮守の森」は古くから神社を囲むように存在し、地域や人々の暮らしを守ってきました。当プロジェクトは、このような「鎮守の森」をモデルとした森をできるだけ多く作り、災害の多い日本を支えていくことを目的としています。

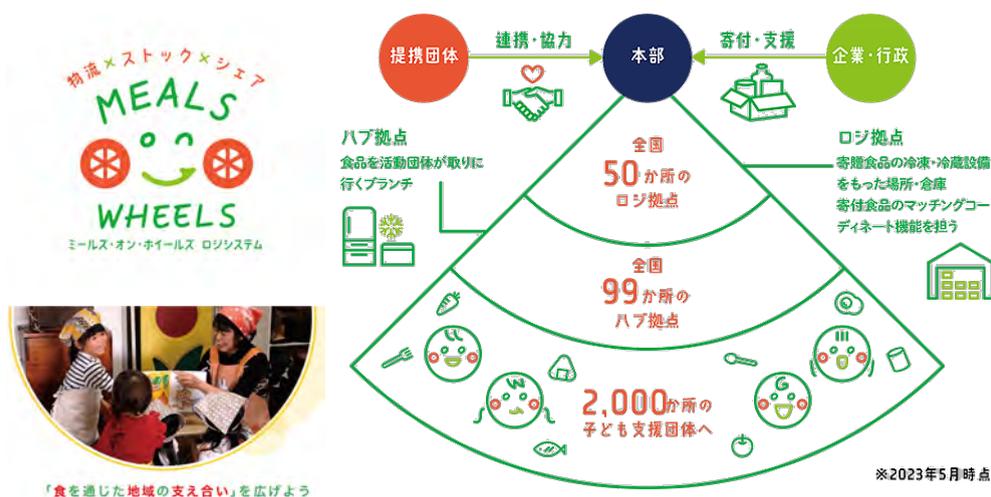
実際に、東日本大震災では深く根をはった木々が津波の勢いを和らげ、関東大震災や阪神大震災では大火を食い止める防災林が重要な役割を果たしました。



写真提供：鎮守の森のプロジェクト

ミールズ・オン・ホイールズ ロジシステムへの寄付

タカラレーベン東北（現タカラレーベン）は、SDGs（持続可能な開発目標）の達成や東北エリアの活性化に資する取り組みとして、ミールズ・オン・ホイールズ ロジシステムへの寄付を行っています。一般社団法人全国食支援活動協力が進めるこの活動は、全国の子ども食堂等の居場所に集う子どもや高齢者等、すべての人が食事を得られる環境づくりを目指しています。全国50か所のロジ拠点（食品の冷凍・冷蔵設備を持つ場所・倉庫、寄贈食品のマッチングコーディネートを行う）、99か所のハブ拠点（活動団体が食品を取りに行くランチ）を経由して、様々な団体や自治体から寄贈された食品を約2,000か所の居場所、子ども支援団体に届ける仕組みを構築しています。



グッドネーバース・ジャパンへの寄付

タカラアセットマネジメントは、ESG課題に対して日々の事業運営の中で具体的かつ積極性をもって取り組むことを目指しグッドネーバース・ジャパンの活動に賛同し寄付を行っています。

グッドネーバース・ジャパンは、ビジョンに「子どもの笑顔にあふれ、誰もが人間らしく生きられる社会」、ミッションに「国内外のパートナーと共に、貧困および差別の原因や災害・紛争による脅威を取り除く」を掲げ、国内外で活動するNPO法人です。国内では、子どもの貧困対策事業として、ひとり親世帯へ定期的に食品配付を行う「グッドごはん」の運営等に取り組んでいます。

NPO法人カタリバへの寄付

タカラアセットマネジメントは、東京都の認証を受けた認定NPO法人カタリバへの寄付を行っています。同NPO法人は、被災や貧困等の理由により、勉強する機会を奪われた日本国内の子どもたちへの教育支援を展開しています。寄付金は、無料の放課後教室での居場所作りや学習支援、食事支援といった活動に役立てられます。

TABLE FOR TWO

国際的な食の格差問題の解消を目指すNPO法人「TABLE FOR TWO International」に継続的に寄付を行っています。2018年11月から、ダイバーシティ推進の一環として運営する障がい者が働く農園「レーベンヴィレッジ」で収穫した野菜を社内の希望者に配布する際に、1袋につき50円を募金しています。2022年度の活動分として、28,844円を寄付しました。

 TABLE FOR TWO



「日本子ども支援協会」への入会と寄付

タカラアセットマネジメントは、特定非営利活動法人「日本子ども支援協会」への入会と寄付を行いました。「子どもの貧困と暴力の連鎖」を永続的に解決することを使命として、子どもが安心して暮らせるための里親支援や子育て支援などに取り組む同協会に対するサポートは、「持続可能な開発目標（SDGs）」にもつながる活動です。



企業版ふるさと納税

MIRARTHホールディングスグループでは企業版ふるさと納税を通じて地方自治体に寄付することで、地方自治体の地域振興や地域の課題解決に寄与し社会貢献活動を推進しています。

千葉県勝浦市「かつうら海中公園再生計画事業」への寄付

MIRARTHホールディングスは千葉県勝浦市地方創生拠点整備交付金事業である「かつうら海中公園再生計画事業」への寄付を実施しました。

当社最大規模となる発電容量約30MWの「レーベンソーラー千葉勝浦発電所」が2021年3月に竣工となり、当発電所の事業用地の多くを勝浦市より賃借していることから、さらに地域活性化に携わるべく当計画に賛同しました。

当計画では、かつうら海中公園の周辺施設の整備・再生を行うことにより、新たな通年型・滞在型の観光、交流拠点の創出と発展を目指しています。

福岡県福岡市「世界水泳選手権福岡大会開催等準備事業」への寄付

タカラレーベンは福岡市の活性化への貢献を目的に、企業版ふるさと納税を通じた「世界水泳選手権福岡大会開催等準備事業」への寄付を実施しました。

2023年に開催される世界水泳選手権大会は水泳界ではオリンピックに次ぐ重要な大会で、福岡市における開催は22年ぶりとなります。この大会に参加するすべての人に、未来に出会ってほしいという思いが込められた「WATER MEETS THE FUTURE」をコンセプトに、福岡市の特徴であるコンパクトな都市構造を生かした効率的な運営がなされる予定です。

岩手県盛岡市「デジタル化による未来社会の創生事業」への寄付

タカラレーベンは、岩手県盛岡市の「デジタル化による未来社会の創生事業」への寄付を実施しました。

同社は盛岡市内での新築分譲マンション事業において4つのプロジェクトを展開していることから、盛岡市のさらなる中枢中核都市機能の高度化に貢献するべく当事業に賛同しました。

当事業は盛岡市の将来を見据えた地域経済・社会におけるデジタル活用のあり方・課題を整理し、優先すべき取組事項を定めるなど、官民一体となったデジタル化による市民生活の向上に関する取り組みを推進する事業となります。



福井県福井市「関係人口の創出拡大と移住定住へのステップアップ事業」への寄付

タカラレーベンは、福井県福井市の「関係人口の創出拡大と移住定住へのステップアップ事業」への寄付を実施しました。同社では福井市内でこれまで3件の新築分譲マンションを供給しており、また、当社グループがサステナビリティ重要テーマとして掲げる「価値あるライフスタイルの創造」「コミュニティの形成」が共通する取り組みであることから寄付に賛同しました。

当事業では、地域志向で創造性のある県内外の若手人材が、地元パートナー企業とともに学び、交流を深めながら、事業化アイデアの創造や地域課題解決に向けた活動に取り組む機会を設けることで、関係人口の創出・拡大や移住促進を目指しています。



KNB大バザール「アンブレラスカイ」

タカラレーベンは再開発を行う富山エリアの活性化を目指し、KNB大バザール「アンブレラスカイ」に協賛しました。KNB大バザールは、富山エリアのテレビ局である北日本放送（KNB）が、SDGsなどをテーマに毎年7月に開催するイベントです。新型コロナウイルス感染症の影響で3年ぶりの開催となった2022年度は、タカラレーベン創業50周年特別企画として、色とりどりの傘を空中に飾り付ける「アンブレラスカイ」を設置しました。またSDGsコーナーにおいて当社のSDGsの取り組みを掲載したパネルを展示し、地域復興やSDGsに注力する当社の取り組みをPRしました。



東北・みやぎオンライン復興マラソン2022

タカラレーベンが2018年度から協賛する「東北・みやぎ復興マラソン」は、東日本大震災被災地の復興への想いを抱くランナーが集まる東北最大級のマラソン大会です。2020年度からは、新型コロナウイルスの感染拡大によって人が集まらない状況でも実施可能な「東北・みやぎオンライン復興マラソン」として開催されています。参加ランナーは、GPSトレーニングアプリをスマートフォンにダウンロードし、岩手・宮城・福島から好きなコースを選んで大会期間内に目標距離の完走を目指します。（2022年大会は宮城のみ）ランナーが参加したコースを期間内に走り切ることで、完走者1人あたり100円が復興支援団体へ寄付されます。2022年は当社グループからも新規7名を含む15名の従業員がランナーとして参加しました。



祭りを通じた地域活性化

タカラレーベンは、地域活性化および日本の文化保存への貢献を目的として、「博多どんたく港まつり」（福岡県）、「東北絆まつり」（秋田県）に協賛しました。

「博多どんたく」は1179年に始まったとされる「松ばやし」を起源とするおよそ840年余の伝統行事です。「東北絆まつり」は、東北の6つの祭りが集結し、当祭りへの集客のきっかけとするだけでなく、東日本大震災の鎮魂と復興を願う祭りです。

これらの祭りへの協賛を通じて、お祭り文化の醸成を図るとともに、復興支援や地域の経済活性化に貢献していきます。



子ども食堂

レーベンホームビルドは、株式会社OCEAN が運営する「麺屋のろし」（東京・秋葉原）が実施する子ども食堂への協賛を、2022年6月より開始しました。

「麺屋のろし」は、企業・団体や個人からの協賛金で食材を調達し、小学6年生までの子どもたちに、いつでも全品無料で提供する「子ども食堂」を運営しています。

レーベンホームビルドは子ども食堂への協賛を通じて、子どもの貧困問題や、子どもが一人でご飯を食べる「孤食」を減らし、子どもたちが安心して暮らせる社会の実現をサポートしていきます。

横浜型地域貢献企業認定

レーベンホームビルド（旧・日興タカラコーポレーション）は、横浜型地域貢献企業認定制度において最上位の評価を受けています。横浜型地域貢献企業認定制度は、神奈川県横浜市内で本業及びその他の活動を通じて優れた地域貢献活動に取り組む企業を、行政機関である横浜市が評価し認定する制度です。「地元活用・志向」「雇用」「環境」「労働安全衛生」「消費者・顧客対応」「コンプライアンス」「情報セキュリティ」など様々な観点からの監査によって、企業の地域性やマネジメント・システムの評価が行われます。



避難所案内サイン「やじるし」キッズデザイン賞受賞

レーベンホームビルドは、新築戸建を分譲し街づくりに携わるデベロッパーとして、「目印の少ない住宅街に、小さな子どもをはじめ、誰でもわかりやすい避難所への案内サインが必要」という考えのもと、避難所案内サイン「やじるし」の製作、設置を行っています。地域全体の子どもたちへの防災教育につなげるべく、同社分譲地のゴミステーション内など、通りに面した場所に設置しています。設置の際には、周辺住民の皆さまにも目的や意義をお伝えし、多くの方々から賛同をいただいています。今後は、要望に応じて他社分譲地や行政・団体などにも提供し、地域コミュニティ全体の防災への貢献を目指します。「やじるし」は、子どもたちにわかりやすいよう最少化された情報と表現の中にも高いクリエイティビティがあると評価され、2019年度キッズデザイン賞において、奨励賞を受賞しました。



清掃活動

当社グループでは、地域社会の発展に貢献する企業を目指す活動の一環として、グループ各社が清掃活動に取り組んでいます。清掃活動を通して、関わる地域を衛生的に保ち、地域社会の健全な発展に貢献することで企業の社会的責任を果たしていきます。グループ各社で供給したマンションや建設中の現場、太陽光発電所の周辺の衛生環境を守るための清掃をはじめ、従業員の活動拠点である事業所周辺の清掃にも積極的に取り組んでいます。また、地元の自治体や自治会で定期的に行われる美化活動にも参加し、地域におけるパートナーシップや協力関係の強化を目指します。



飯能市公園美化活動団体に認定を受け発電所近隣の公園で清掃活動（タカラアセットマネジメント）



除草活動後のLS飯能三杉台発電所周辺道路（レーベンコミュニティ）



埼玉県北葛飾郡杉戸町発電所の自治会主催清掃活動に参加（レーベクリーンエナジー）



松山市主催の「フチ美化運動」への参加（タカラレーベン 松山支店）

SDGs寄付型私募債

レーバークリーンエナジーは、愛媛銀行を引受先とする「SDGs寄付型私募債」を発行し、資金調達を実施しました。また、発行手数料の一部は愛媛銀行を通じて、愛媛県庁に寄付を行い、2022年10月26日に贈呈式を実施しました。

「SDGs寄付型私募債」は、一定以上の財務基準を満たしており、国連が提唱する持続可能な開発目標SDGsの趣旨に賛同し、寄付・寄贈を通じてSDGs達成へ貢献したい優良企業が発行します。当私募債は発行手数料の一部（発行金額の0.1%）を、SDGsの取り組みを行う諸団体へ寄付を行うものです。

「再生可能エネルギーでカーボンニュートラルな世界を創る」をビジョンに掲げ、持続可能な社会の実現に貢献すべく、再エネの普及に努めてきたレーバークリーンエナジーは、事業活動を通じてSDGs達成に貢献したいという意思を表明するため、「SDGs寄付型私募債」発行による資金調達の実施に至りました。本資金調達によって得た資金は、SDGs達成に結びつく今後の事業資金として活用します。

名称	SDGs寄付型私募債
発行金額	150百万円
期間	5年
資金用途	設備資金
寄付先	愛媛県庁（愛媛県地域環境保全基金）
寄付金額	15万円

Sponsorship

スポーツ・文化への協賛

スポーツへの協賛

KUWATA CUP 2023

タカラレーベンは、歌手の桑田佳祐さんが、SDGsにかけて「SKGs」＝「桑田佳祐の持続可能な目標」を打ち出し、「心と体の健康維持を」を掲げて開催する「KUWATA CUP 2022→2023～みんなのボウリング大会～」へ協賛しました。

日本全国誰でも参加できる「みんなのボウリング大会」をテーマに、テーマソングを桑田佳祐&The Pin Boys名義で書き下ろすなど、スポーツ×エンターテインメントの化学反応によって持続可能な社会の実現を目指す想いに共感し、協賛を行っています。

また、街づくりや地域活性化への貢献を目指す当社の特別企画として、同イベントにて、タカラレーベン特別企画SKGsプレゼントキャンペーンを実施。決勝大会への招待権をはじめ、地方名産品の詰め合わせセットなどが当たる、ボウリング場来場者限定プレゼントキャンペーンを実施しました。



神奈川レディースオープン

タカラレーベンは、スポーツ協賛を通じた文化醸成や地域復興に向けて、「神奈川レディースオープン2022～チャリティーゴルフトーナメント～」に協賛しました。本イベントは、ゴルフ人口の増加・交流を目的として2017年より開催されており、本年度は神奈川県にゆかりのある選手や、シニアプロの方など多くの選手が参加しました。



日テレ・東京ヴェルディベレーザ

タカラレーベンは2021年2月より、日本をリードする女子サッカーチーム「日テレ・東京ヴェルディベレーザ」とコーポレートパートナー契約を締結し、スポーツが持つ感動や喜びの体験を発信しています。

2021年11月には、スポーツ・文化振興や女性の活躍推進に向けた取り組みとして冠試合「タカラレーベンDAY」（大宮アルディージャVENTUS戦）を開催。また試合前には創業の地である東京都板橋区の小学生を招待し、プロが試合を行う憧れのピッチでサッカーを楽しむ「タカラレーベンpresents 板橋区サッカーフェスタ」を開催しました。

2022年12月には、「MIRARTHホールディングスDAY」（サンフレッチェ広島レジーナ戦）を開催し、タカラレーベンのコーポレートキャラクター「れ〜べ〜」と、チームマスコットキャラクター「リヴェルン」が登場し、会場は大いに盛り上がりました。



プロスポーツチーム協賛を通じた地域の活性化

タカラレーベン東北（現タカラレーベン）は、仙台をホームに活躍する3つのプロスポーツチーム（Jリーグの「ベガルタ仙台」、プロ野球の「東北楽天ゴールデンイーグルス」、Bリーグの「仙台 89ERS」）をオフィシャルスポンサーとして応援しています。各チームへの協賛を通じて、地域のスポーツ振興、地域活性化に取り組み、今後も地域社会の幸せや発展に貢献していきます。



文化への協賛

SDGs QUESTみらい甲子園 首都圏大会

MIRARTHホールディングスは、高校生が持続可能な地球の未来を考え行動するために、社会課題解決に向けたアイデアとアクションプランを発表する「SDGs QUESTみらい甲子園 首都圏大会」に協賛しました。2022年度は全国11エリア25都道府県で開催され、首都圏大会には、1都3県（東京、千葉、埼玉、神奈川）の53校から242チーム計1,087名の学生が参加しました。

各チームのプレゼンテーションでは、SDGsのゴールを見据えた世界的な課題に関するアクションから、地域特有の産業を活かして拡大を図っていくようなアクションまで、多種多様なアイデアが紹介されました。

同大会は当社が掲げるOur Purpose（存在意義）「サステナブルな環境をデザインする力で、人と地球の未来を幸せにする。」にも通じる取り組みであり、“持続可能な社会の担い手”育成の一助に寄与できると考えます。協賛を通じて、より一層SDGsの目標達成に向けた取り組みを支援・推進し、各地域の課題解決に寄与していきます。



えひめSDGs甲子園

タカラレーベンとレーベンコミュニティは、創業50周年記念企画として、「えひめSDGs甲子園～高校生SDGs実践プロジェクト～」(主催者・NPO法人地域教育サポートの会)に特別協賛しました。

当プロジェクトは、高校生が自発的にSDGsの正しい知識を身に付け、主体的に実践することで「SDGsへの意識を高めること」を目的としています。これからの世界を担う学生に、未来のために自らの意思で学べる場を提供することが、タカラレーベンの企業理念「幸せを考える。幸せをつくる。」につながると考え、主催者であるNPO法人地域教育サポートの会の協力のもと、当プロジェクトの企画・立案を行いました。

SDGsに関心を持つ愛媛県内の高校生12チーム(84名)が参加し、各地域における課題解決に向けた取り組みや、国内で抱えるSDGs課題を検討する企画など、多数のユニークな発表が行われた中、中学生向けの防災カードゲームを制作し地域防災力向上を訴えた愛媛県立松山工業高等学校「チームSave Our Future」の「地域防災×SDGs～災害に強く住み続けることができる地域づくりを目指して～」がグランプリに選出されました。



環境フォト・コンテスト

MIRARTHホールディングスは、企業が設定した募集テーマを基に市民が写真を撮影し、企業と市民の共同作業で環境への想いや決意を表現する「第29回環境フォト・コンテスト2023」（主催・プレジデント社／後援・環境省、環境文明研究所）に参加しました。

「幸せ」をキーワードに社会課題の解決に取り組む当社の企業姿勢に基づき、「水と暮らしの幸せ」をテーマに募集したタカラレーベン賞には、多くの応募がありました。厳正な審査を経て、まっすぐに植えられた苗と土手に広がる花々のコントラストが美しい「遠足」に優秀賞を贈りました。



優秀賞「遠足」



佳作「ああ～しあわせ？」



佳作「『わあー！気持ちいい！』」

• [環境フォト・コンテスト2023](#) 外部リンク

grape Award

ニッポン放送グループのWEBメディア「grape（グレイブ）」が主催する「grape Award」は、心に響くエッセイを募集するコンテストです。6回目の開催となる2022年度は、『身の周りであった心温まるエピソード』や、『心が癒されるような体験談』をテーマに作品が募集され、10歳から89歳までの幅広い年齢層から、643本の作品が届けられました。タカラレーベンは、「grape Award」に5年連続で特別協賛し、企業ビジョン「幸せを考える。幸せをつくる。」に相応しい、「幸せ」が感じられる作品に「タカラレーベン賞」を贈っています。



- [grape Award](#) 

MOMAT支援サークル

日本における美術の中心的な拠点である東京国立近代美術館では、企業と美術館がパートナーとなって作り上げる新しい美術館支援のシステム「MOMAT支援サークル」（MOMAT Corporate Partnership）を推進しています。

タカラレーベンは、2021年7月よりMOMAT支援サークルのパートナー企業となり、2022年も継続して、東京国立近代美術館の活動（展覧会の開催、調査研究、作品の収集と保管、教育普及活動、美術館運営事業など）を支援しています。文化的な価値の高い美術作品を通じて国民の皆さんに幸せな時間を提供する東京国立近代美術館の活動を支援することによって文化の醸成に貢献するとともに、従業員が優れた美術作品に触れる機会を提供しています。



ミュージカル「ピピン」

タカラレーベンは、ブロードウェイミュージカル『ピピン』（2022年日本語版）に単独協賛し、住まいの延長である文化的な生活を支援しています。『ピピン』はトニー賞でミュージカル部門、最優秀リバイバル作品賞等4部門で受賞している、評価の高い作品です。

当ミュージカルのストーリー性が当社のビジョン「幸せを考える。幸せをつくる。」とも合致する『ピピン』への協賛を通じて、コロナ禍で活動の制限を余儀なくされてきた演劇界の活性化と文化の保存に貢献していきます。



浜離宮ランチタイムコンサート

MIRARTHホールディングスは、浜離宮朝日ホール（東京・築地）で毎年実施されているシリーズ公演『浜離宮ランチタイムコンサート』に、冠協賛を行いました。タカラレーベン創業50周年を記念して、「Takara Leben Group創業50周年記念公演」と題し、1年間計12回の公演と1回の特別講演を開催。ナショナルブランドの確立と豊かで上質な暮らしの提供に取り組んでいます。

上州将棋祭り

MIRARTHホールディングスは、2023年1月に群馬県で開催された「第11回上州将棋祭り2023」に協賛・後援を行いました。同イベントには、将棋界を代表するトップクラスの棋士12名が参加し、棋士同士の対局や、棋士との交流イベント、女流チャレンジ杯、こどもチャレンジ杯などが行われました。今後も、日本の伝統文化である将棋の普及・発展と地域の活性化に貢献していきます。



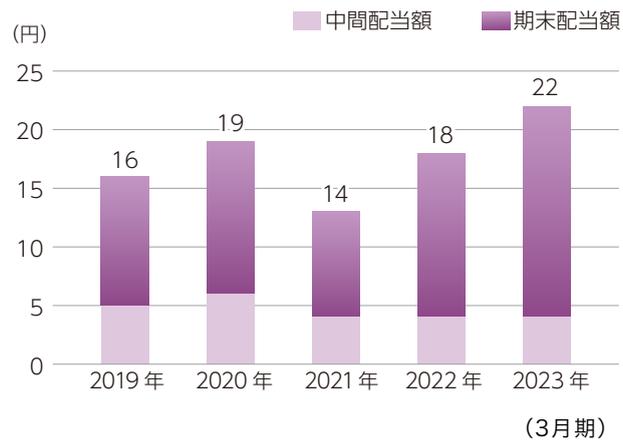
Shareholders

株主と共に

配当に関する方針と実績

配当に関する基本的な判断については、配当性向のみの指標に偏ることなく、株主資本配当率（DOE）や配当利回りなど、総合的に考えています。短期でなく長期的に、かつ安定して保有していただけるよう、また株価の変動にも左右されず長く保有されている株主の皆さまのためにも魅力ある会社づくりを目指していきます。

1株当たりの配当額



- 株式基本情報

株主さまアンケート

株主の皆さまとの双方向コミュニケーションを図るために、定期的なアンケート調査を実施しています。アンケートで寄せられた貴重なご意見は、WEBサイトに掲載の株主通信を通じて皆さまに紹介するとともに、以降のIR活動への反映に努めています。



- 株主通信

個人投資家向け会社説明会

MIRARTHホールディングスでは、個人投資家の皆さまとの積極的なコミュニケーションを図るため、全国各地で定期的に個人投資家向け会社説明会を実施しています。2022年度は9月に札幌にて会社説明会を開催し、当社の事業内容や中長期戦略を説明しました。

- 個人投資家の皆様へ

情報開示方針

MIRARTHホールディングスでは、情報開示方針に基づき皆さまに情報を開示しています。

- 情報開示方針

Social data

社会データ

社会データ

MIRARTHホールディングスグループ

		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
従業員数（人）	男性	618	675	739	815	867
	女性	274	298	322	385	426
	合計	892	973	1,061	1,200	1,293
平均年齢（歳）	男性	37.8	38.2	38.0	39.0	38.9
	女性	33.0	33.5	33.9	34.7	35.1
	合計	36.3	36.7	36.7	37.6	37.7
平均勤続年数（年）	男性	4.5	4.8	4.9	4.8	5.1
	女性	3.6	4.2	4.0	4.1	4.4
	合計	4.2	4.6	4.6	4.6	4.9

タカラレーベン

		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (※1)	
従業員数 (人)	男性	222	261	292	271	361	
	女性	74	73	73	72	123	
	合計	296	334	365	343	484	
平均年齢 (歳)	男性	35.4	36.0	35.9	36.5	35.9	
	女性	32.8	34.4	35.5	34.9	33.7	
	合計	34.7	35.6	35.8	36.1	35.3	
平均勤続年数 (年)	男性	5.5	5.6	5.8	6.1	6.0	
	女性	5.1	6.4	6.9	7.2	6.1	
	合計	5.4	5.8	6.0	6.4	6.0	
管理職数 (人)	男性	67	88	99	92	121	
	女性	6	8	8	7	15	
管理職比率 (%)	男性	91.8	91.7	92.5	92.9	89.0	
	女性	8.2	8.3	7.5	7.1	11.0	
障がい者雇用率 (%)		2.19	2.06	1.98	2.70	2.0	
有給休暇取得率 (%)	男性	41.4	52.4	52.4	57.8	65.7	
	女性	66.2	67.9	67.6	69.1	78.1	
	合計	46.7	55.6	55.4	60.1	68.7	
育児休業	対象者数	男性	5	12	13	12	15
		女性	3	4	3	3	-
	取得者数	男性	0	0	1	0	7
		女性	3	4	3	3	-
	取得率 (%)	男性	0	0	7	0	46
		女性	100	100	100	100	-

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (※1)
ストレスチェック受診率 (%)	83.8	93.5	92.6	85.0	87.9
一人当たりの研修時間	(※2)	(※2)	14.2	18.2	28.3
一人当たりの研修費 (円)	(※2)	(※2)	20,612	28,012	56,046
幸福度調査	-	-	-	-	4.51/7.0

※1 2022年10月1日付けで㈱タカラレーベン西日本が㈱タカラレーベンに商号を変更し、㈱タカラレーベン東北を吸収合併したため、新組織にて集計。

※2 2020年度からの新人事制度の運用開始に合わせ、データの集計と開示を実施。